

2025年度

# 講義要項

ビジネス法学科

西日本短期大学

ビジネス法学科 1年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●:実務家教員)			
基礎	スポーツ理論と実践Ⅰ	前期	1-B1SE01	坂元 瑞貴			
基礎	スポーツ理論と実践Ⅱ	後期	1-B1FE02	坂元 瑞貴			
基礎	キャリア演習Ⅰ	前期	1-B1SR03	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
基礎	キャリア演習Ⅱ	後期	1-B1FR04	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
				●阿南 善久			
基礎	ワークショップ演習Ⅰ	前期	1-B1SE05	大谷 美咲	森江 由美子		
基礎	ワークショップ演習Ⅱ	後期	1-B1FE06	大谷 美咲	●阿南 善久		
基礎	キャリアサポート(民間企業)	後期	1-B1FE07	●池田 桂子			
基礎	キャリアサポート(公務員)	後期	1-B1FE08	岸田 優			
基礎	公務員教養A(数学基礎)	前期	1-B1SE09	大谷 美咲	岸田 優		
基礎	公務員教養B-1(数的推理)	後期	1-B1FE10	岩崎 靖			
基礎	公務員教養C-1(判断推理)	後期	1-B1FE11	岩崎 靖			
基礎	パソコン基礎Ⅰ	前期	1-B1SE12	川原口 久爾			
基礎	パソコン基礎Ⅱ	後期	1-B1FE13	川原口 久爾			
基礎	ビジネスと法	後期	1-B1FE14	渡部 忠信			
基礎	プレップセミナー	前期	1-B1SR15	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
基礎	インターンシップ実習指導	前期	1-B1SE16	●阿南 善久	●佐藤 美奈		
基礎	インターンシップⅠ	通年	1-B1YE17	大谷 美咲			
基礎	秘書検定対策講座	前期	1-B1SE18	●池田 桂子			
基礎	キャリアサポート(アジアビジネス)Ⅰ	後期	1-B1FE19	高向 有理			
専門	法学概論	前期	1-S1SR01	大谷 美咲			
専門	憲法	前期	1-S1SR02	大谷 美咲			
専門	刑法Ⅰ	前期	1-S1SE03	岸田 優			
専門	刑法Ⅱ	後期	1-S1FE04	岸田 優			
専門	民法Ⅰ	前期	1-S1SR05	岸田 優			
専門	民法Ⅱ	後期	1-S1FE06	岸田 優			
専門	家族法	前期	1-S1SE07	●吉田 俊介			
専門	行政法Ⅰ	後期	1-S1FE08	大谷 美咲			
専門	労働法	後期	1-S1FE09	大谷 美咲			
専門	ミクロ経済学	前期	1-S1SE10	久保 宏和			
専門	マクロ経済学	後期	1-S1FE11	久保 宏和			
専門	金融論	前期	1-S1SE12	久保 宏和			
専門	社会保障	前期	1-S1SE13	●日野 将也	●吉田 里香		
専門	ファイナンシャルプランナーA	前期	1-S1SE14	●新垣 のぞみ			
専門	ファイナンシャルプランナーB	後期	1-S1FE15	●新垣 のぞみ			
専門	簿記Ⅰ	前期	1-S1SR16	矢野 沙織			
専門	簿記Ⅱ	後期	1-S1FE17	矢野 沙織			
専門	福岡学	後期	1-S1FE18	武濤 研二郎			
専門	貿易概論	後期	1-S1FE19	久保 宏和	岸田 優		
専門	金融資産運用	後期	1-S1FE20	●守田 弘美			
専門	経営学	前期	1-S1SR21	久保 宏和			
専門	マーケティング論	後期	1-S1FE22	久保 宏和			
専門	FP3級試験対策講座	後期	1-S1FE23	●新垣 のぞみ			

ビジネス法学科 2年次開講科目

区分	授業科目	開講期	ナンバリング	担当者(●:実務家教員)			
基礎	英会話Ⅰ	前期	1-B2SE01	クリステル・サトウ			
基礎	英会話Ⅱ	後期	1-B2FE02	クリステル・サトウ			
基礎	キャリア演習Ⅲ	前期	1-B2SR03	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
基礎	キャリア演習Ⅳ	後期	1-B2FR04	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
				●阿南 善久			
基礎	公務員教養B-2(数的推理)	前期	1-B2SE06	岩崎 靖			
基礎	公務員教養C-2(判断推理)	前期	1-B2SE07	岩崎 靖			
基礎	公務員教養D(政治・経済)	前期	1-B2SE08	大谷 美咲	岸田 優	久保 宏和	
基礎	公務員教養E(人文科学)	前期	1-B2SE09	村上 悠			
基礎	インターンシップⅡ	前期	1-B2SE10	大谷 美咲			
基礎	キャリアサポート(アジアビジネス)Ⅱ	前期	1-B2SE11	高向 有理			
専門	民法Ⅲ	前期	1-S2SE01	岸田 優			
専門	行政法Ⅱ	前期	1-S2SE02	大谷 美咲			
専門	会社法	前期	1-S2SE03	若色 敦子			
専門	スポーツと法	前期	1-S2SE04	岸田 優			
専門	会計学	前期	1-S2SE05	矢野 沙織			
専門	工業簿記	前期	1-S2SE06	矢野 沙織			
専門	簿記上級Ⅰ	前期	1-S2SE07	矢野 沙織			
専門	簿記上級Ⅱ	後期	1-S2FE08	矢野 沙織			
専門	裁判学	後期	1-S2FE09	●吉田 俊介			
専門	ビジネス実務	後期	1-S2FE10	有田 麻紀			
専門	経営分析	後期	1-S2FE11	矢野 沙織			
専門	ゼミナール	通年	1-S2YR12	大谷 美咲	矢野 沙織	岸田 優	久保 宏和
専門	ビジネス実務法務検定対策講座	後期	1-S2FE13	岸田 優			
専門	FP2級試験対策講座	前期	1-S2SE14	●新垣 のぞみ			

<ナンバリングについて>

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

- 学科コード      1 ビジネス法学科      2 緑地環境学科      3 社会福祉学科      4 保育学科  
                         5 健康スポーツコミュニケーション学科      6 メディア・プロモーション学科
  
- 科目区分      B 基礎科目              S 専門科目              P 実務科目              Q 資格科目
  
- 開講期            1 一年次科目            2 二年次科目  
                         S 前期科目              F 後期科目              Y 通年科目
  
- 必修・選択      R 必修                  E 選択
  
- 科目ナンバー    二桁の数字

(例)「スポーツ理論と実践Ⅰ」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
1	B	1S	E	01

---

1 年 前 期

---

《基礎科目》

科目名	スポーツ理論と実践				
担当者氏名	坂元 瑞貴				
授業方法	実技	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

本授業では「健康スポーツ」「球技スポーツ」「ラケットスポーツ」「ニュースポーツ」等を行い、生涯を通してスポーツを楽しむための知識・技能を養う。

《教科書》

必要に応じて、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ルールについての試験を随時行い、その都度解説を行う。

《授業の到達目標》

1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯を通してスポーツを楽しむことができる。
2. 実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。
3. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。

《成績評価基準》

実施するスポーツのルールを理解し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取りながら、実践することができる。

《成績評価の方法》

実技 30%  
授業の取組 70%

《参考図書》

観るまえに読む大修館スポーツルール(大修館書店編集部)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション アイスブレイク	怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

テーマごとに外部講師による講義や進路に関する説明を聞き、グループワークを行う。  
なお、外部講師の都合等により、授業の進行予定が前後するなど、変更が生じることがある。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学習ポートフォリオ」に保存する。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。  
様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する(80%)。授業への主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 80% 実技 %  
授業の取組 20%  
その他 ( ) %

《参考図書》

西短進路指導部『就職活動ハンドブック』(2025)  
授業内で配布

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス、履修登録確認、等	【予習】シラバスを読む(30分) 【復習】履修科目の確認(30分)
2	進路希望調査、打ち合わせ(学生会、OCサポ)	【予習】自分の進路について考える(30分) 【復習】打ち合わせ内容の確認・金融について考える(30分)
3	金融教育	【予習】金融について考えておく(30分) 【復習】課題に取り組む(30分)
4	ポートフォリオ作成	【予習】学校周辺について調べておく(30分) 【復習】写真を共有する(30分)
5	ポートフォリオ作成	【予習】自分の進路について考えておく(30分) 【復習】打ち合わせ内容の確認(30分)
6	進路ガイダンス	【予習】進路について調べる(30分) 【復習】進路について具体的に調べる(30分)
7	ポートフォリオ作成	【予習】これまで作成したポートフォリオの見直し(30分) 【復習】ポートフォリオの作成・修正(30分)
8	資格ガイダンス	【予習】事前に提示された資格について調べる(30分) 【復習】課題に取り組む(30分)
9	メンタルヘルス講習会	【予習】これまでの学生生活について振り返る(30分) 【復習】(30分)
10	就職模試	【予習】高校までの学習を振り返る(30分) 【復習】解答・解説を熟読する(30分)
11	他学科交流授業	【予習】自分が割り当てられた授業のテーマについて調べる(30分) 【復習】各授業内の課題に取り組む(30分)
12	避難訓練・裁判所見学事前学習	【予習】裁判所について調べる(30分) 【復習】裁判所での質問事項などを考える(30分)
13	裁判所見学	【予習】裁判所について調べる(30分) 【復習】課題に取り組む(30分)
14	福浜祭打ち合わせ	【予習】福浜祭について「やりたいこと」を考える 【復習】自ら担当することについて整理する。
15	夏季休暇前指導・福浜祭打ち合わせ	【予習】夏季休暇の過ごし方・福浜祭について考える(30分) 【復習】キャリア演習Iの内容について考える(30分)

《基礎科目》

科目名	ワークショップ演習				
担当者氏名	大谷 美咲、森江 由美子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-DP4 4.創造的思考力 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。				

《授業の概要》

この科目は、就職、起業、公務員志望者対象のワークショップです。2つのグループに分け、就職・起業グループは、組織の作り方、運営の仕方から利益を得るためにはどうしたらよいか等、公務員グループは社会貢献マインドを身につけ地域のためになることはないか等について実践を通して学んでいく。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

業務日誌・レポートの作成と提出とそれに対するコメント

《授業の到達目標》

就職・起業グループ

会社組織の仕組みについて理解する。 事業を軌道に乗せるためには何が必要かを学ぶ。 社会人としてのマナー等を身につける

公務員グループ

社会貢献活動について、その活動の目的について理解する。 社会貢献マインドを養う。 公務員等社会貢献性の高い職業への意欲を高める。

《成績評価基準》

授業の到達目標について、毎回の活動の取組みと報告書、レポート課題等で総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 20%

課題 40% 実技 %

授業の取組 40%

その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に必要に応じて指定する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス グループ分け	ワークショップについて理解しておくこと。毎回の授業内容をWEBで調べておくこと(2時間)
2	事前学習	会社を作ってみよう 会社組織に必要なものは? 必要な役割は? 組織を作ってみよう(公務員グループ) 授業内容をwebで調べておくこと(2時間)
3	事前学習	何の事業にするかについて考えておく。授業内容をwebで調べておくこと(2時間)
4	事前学習	事業計画を作成する。授業内容をwebで調べておくこと(2時間)
5	調査活動	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
6	調査活動	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
7	調査活動	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
8	事業の決定、取締役会の開催。企画広報会議開催	必要資料の作成(2時間)
9	商品若しくはサービスの決定	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
10	商品若しくはサービスの決定	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
11	商品若しくはサービスの決定	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
12	臨時取締役会の開催 企画広報会議開催	必要資料の作成(2時間)
13	試作	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
14	試作	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
15	活動の総括	前期授業の見直し、後期の活動に向けての課題を考えること。(2時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養A(数学基礎)				
担当者氏名	大谷 美咲、岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

毎回、分野ごとに説明、演習、解説を行い、その分野についての基礎力を着実につけていく。

《教科書》

指定しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト等を行い、採点、解説を行う。

《授業の到達目標》

公務員試験、SPIの一般教養科目としての数的処理の基本を理解し、基本的な問題に対処できる力をつける。

《成績評価基準》

授業で取り扱った問題を解けるようになること。  
 類似問題を解けるようになること。  
 問題に取り組む力、姿勢を身につけること。  
 以上を小テスト、筆記試験によって評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %  
 課題 40% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他( ) %

《参考図書》

公務員試験用テキスト(初級・中級用)の数的推理、判断推理の物を活用すること。授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	約数と倍数	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
2	数列	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
3	方程式① 物の売買	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
4	方程式② 年齢算	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
5	売買問題	原価、定価、売価、利益を理解する。問題の復習(2時間)
6	平均算	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
7	確認テスト	テスト前総復習を行う(2時間)
8	論理・命題	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
9	順序関係	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
10	集合	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
11	試合の勝敗① リーグ戦	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
12	試合の勝敗② トーナメント戦	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
13	速さ	復習に力を入れて下さい。その日の授業で取り扱った問題を解けるようになること。(2時間)
14	総復習	授業全回分の復習、テスト勉強を行う。(2時間以上)
15	まとめのテスト	授業全回分の復習、テスト勉強を行う。(2時間以上)

《基礎科目》

科目名	パソコン基礎				
担当者氏名	川原口 久爾				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-Op6 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

1. ワードプロソフト (MicrosoftWord) の機能を把握し、基本的な操作ができるようになる。
2. ワードプロソフト (MicrosoftWord) を使用して必要な資料等を時間内に作成できるようになる。
3. 日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ検定の取得を目指す。

《授業の到達目標》

1. ワードプロソフト (MicrosoftWord) で、文字の入力から文書の新規作成、既存の文書の編集、印刷まで、ワードプロソフト (MicrosoftWord) による一連の操作や表を使った見やすい文書、ビジネス文書の作り方を習得できる。
2. 日本情報処理検定協会主催の日本語ワープロ検定において、各自の目標とする級を取得する。

《成績評価の方法》

- 実技試験 (検定) 50%
- 課題30%
- その他 (態度・取組等) 20%

《教科書》

日本語ワープロ検定試験 模擬問題集 (日本情報処理検定協会)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

1. 課題等を印刷もしくはメールにて提出をする。
2. 採点をし返却する。
3. 返却後、出来てない部分のやり直しをする。

《成績評価基準》

授業で提出した課題・実技試験 (検定) の結果・内容と授業中への取り組む姿勢等から総合的に評価する。

《参考図書》

日本情報処理検定協会ホームページ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キーボード・Word機能の説明・入力練習	シラバス確認・Wordについてインターネット等で調べておく (30分) キーボードを使用しての入力練習 (10分)
2	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
3	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
4	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
5	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
6	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
7	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
8	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
9	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
10	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)と入力練習 (10分)
11	ビジネス文書の作成手順と作成練習・入力練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)
12	実技試験 (検定)	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策 (30分) 授業内容の復習 (30分)
13	表現力をアップする機能等の文書作成 (課題)	Wordの機能についてインターネット等で調べておく (30分) 授業内容の復習 (30分)
14	表現力をアップする機能等の文書作成 (課題)	Wordの機能についてインターネット等で調べておく (30分) 授業内容の復習 (30分)
15	表現力をアップする機能等の文書作成 (課題)	Wordの機能についてインターネット等で調べておく (30分) 授業内容の復習 (30分)

《基礎科目》

科目名	プレップセミナー				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-OP2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-OP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

高校までとは異なり、「覚える」ことから「考える」ことが学習の中心となる大学において、基礎的な学び方の技法を習得する。特に社会に出てからも活用できる「文章を書く、読む」ための力を習得する。また、クラス単位のグループワークを行い、意見発表や議論を行い集団での学びを習得する。

《教科書》

使用しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業後の課題にコメントをしていく。

《授業の到達目標》

- ① 講義におけるノート、メモの取り方を習得する。
- ② 社会科学系の文章を読み、理解し、自分の考えをまとめることができるようになる。
- ③ 討論し、自分の考えを表現できるようになる。

《成績評価基準》

講義目標に関し、コメントペーパー、課題等を通じて測定し総合的に判断する。

《成績評価の方法》

課題 80%  
授業の取組 20%

《参考図書》

適宜支持する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション ポートフォリオ作成	時間割を確定し、大学での授業の受け方、生活を理解する。 自分の一週間の生活のスケジュールを理解すること。(1時間)
2	大学での学び方	授業の受け方、ノートの取り方を中心に今までの全ての授業の振り返りを行う。 (1時間)
3	デジタルツールの利用法 およびリテラシー	それぞれのツールに触れ、利用の仕方を学ぶ。 インターネットの情報検索、情報の使い方について学ぶ。(1時間)
4	プレップゼミ	各自、自己紹介の内容とともに、自分について振り返りを行ってみること。(1時間)
5	経営系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
6	経営系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
7	プレップゼミ	クラス担任の指示に従って復習する。(1時間)
8	法律系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
9	法律系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
10	経済系科目の学び方	課題レポートに取組み、授業内容を復習する。(1時間)
11	経済系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
12	プレップゼミ	クラス担任の指示に従って復習する。(1時間)
13	会計系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
14	会計系科目の学び方	課題に取組み、授業内容を復習する。(1時間)
15	プレップゼミ④・試験について等	クラス担任の指示に従って復習する。(1時間)

《基礎科目》

科目名	インターンシップ実習指導				
担当者氏名	阿南 善久、佐藤 美奈				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

インターンシップの受入れやインターンシップ参加学生のメンター、就職・キャリア講師の実務経験がある教員が、「社会人の視点」でインターンシップへ参加するにあたって必要な知識と態度やビジネスマナーを習得するための実践的な授業を行う。座学のみならず、ペアワークやグループワークを取り入れながら、自ら考え行動することを授業を通じて考え学んでいく。受ける授業ではなく、参加する授業となる。

《授業の到達目標》

- ・社会や業界、企業やビジネスの仕組みと仕事(職種)について理解し、インターンシップに参加出来るようになる。
- ・自己理解を深め、組織と自分の接点を見つける事が出来る。
- ・基本的なビジネスマナーを学び、説明したり実践したりする事が出来るようになる。
- ・話す(伝える)、聞く(反応する)、問う(考える)事が習慣的に出来るようになる。

《成績評価の方法》

- レポート 45%
- 課題 5%
- 授業の取組 50%

《教科書》

使用しない。プリントを配布する

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

振り返りレポートは、添削の後、翌週に返却する。  
課題(履歴書の作成・修正)は、授業内で確認し、解説を行う。

《成績評価基準》

筆記試験は行わず、授業への取り組み(発表・発言回数、出欠・参加態度)および課題(履歴書の作成、レポートの作成)の提出にて評価を行う。

《参考図書》

適宜、紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/目標と目的を明確にする	自己分析を行い、進学した目的と卒業までの目標を考える(2時間)
2	インターンシップガイド(1)	インターンシップのスケジュール確認、企業担当者によるゲストスピーチ(2時間)
3	インターンシップガイド(2)	インターンシップ情報を確認し、受け入れ企業について調べる(2時間)
4	インターンシップ体験談	昨年インターンシップに参加した先輩に体験談を話してもらい、インターンのイメージをつけてもらう(2時間)
5	履歴書の書き方	大学指定の履歴書を作成する(2時間)
6	履歴書の書き方	作成した履歴書の修正を行う(2時間)
7	コミュニケーショントレーニング	実践的なコミュニケーションについて学ぶ(2時間)
8	ビジネスマナー	基本的なビジネスマナーについて学ぶ(2時間)
9	業界・企業・職種研究の仕方	業界の流通の仕組みや企業の種類、また各職種における役割など、企業研究におけるポイントなどを幅広く学ぶ(2時間)
10	業界・企業・職種研究の仕方	前回の学びを元に、自身の興味ある企業を調べてみる(2時間)
11	自己理解と他者理解	最新AIを活用して自己分析を行い、自身の強みと弱みについて整理する(2時間)
12	チームビルディング	職場環境とチームワークの重要性について学び、社会人になった時の不安を解決する(2時間)
13	キャリアデザイン	いろんなワークを通じて自身の特性やスキルを棚卸し、分析・思考する(2時間)
14	キャリアデザイン	将来のキャリアプランについて、想像し・書き出す(2時間)
15	聞き上手ワークショップ/まとめ	職場で役立つ、実践型コミュニケーションについて学ぶ(2時間)

《基礎科目》

科目名	秘書検定対策講座				
担当者氏名	池田 桂子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

社会的に非常に知名度が高い秘書検定資格を取得することは、就職活動全般でとても役に立ちます。男女問わず、秘書検定で身につくスキルは、どの業種・職種でも使えます。テキストに沿ってポイントを押さえながら、過去10年間の問題を解き傾向や対策を交え実践的に学びます。

《教科書》

秘書検定集中講義改訂版2級、公益財団法人実務技能検定協会編、早稲田教育出版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の授業で過去問題を準備し、問題を解いた後、答え合わせと共に解説を行います。試験終了後は、総括と解説を行います。

《授業の到達目標》

秘書検定3級・2級の試験に合格する。  
 会社の組織や機能を理解し、自分がやりたい仕事を明確にする。  
 幅広く社会性、一般常識を身につけ、自信を持って社会人になれるよう準備する。

《成績評価基準》

秘書検定の3級レベルの問題の8割、2級レベルの問題の6割を正解することができること。自分が目指す仕事、業種を明確にできていること。基本的な社会人としてのマナーを身につけていること。

《成績評価の方法》

筆記試験 100 % レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 % その他 ( ) %

《参考図書》

適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	職業人としての自覚と心構え(人柄と身だしなみ)	予習：教科書 P17～P38を熟読しておくこと(30分) 復習：プリントに目を通し過去問題をもう1度解く(30分)
2	要求される資質(仕事を処理する際の基本)	予習：教科書 P40～P52を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題をもう1度解いてみる(30分)
3	秘書の機能と役割(組織の中での位置付け)	予習：教科書 P56～P66を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
4	秘書の業務(職務上の心得と仕事の進め方)	予習：教科書 P69～P82を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
5	企業と経営(主な企業活動と法律税の知識)	予習：教科書 P86～P113を熟読しておくこと(30分) 復習：企業に関する用語を覚える(30分)
6	社会常識(知っておきたい用語)	予習：教科書 P116～P119を熟読しておくこと(30分) 復習：常識としての基本的な用語を覚える(30分)
7	人間関係と話し方・聞き方	予習：教科書 P122～P147を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
8	敬語と接遇用語	予習：教科書 P150～P158を熟読しておくこと(30分) 復習：敬語・接遇用語を覚える(30分)
9	電話対応と接遇の実際	予習：教科書 P160～P174を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
10	慶事・弔事・パーティー・贈答のマナー	予習：教科書 P177～P192を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
11	会議と秘書の業務	予習：教科書 P196～P205を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
12	文書の作成(ビジネス文書・グラフの作り方)	予習：教科書 P207～P225を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
13	文書の取り扱い(郵便の知識)	予習：教科書 P227～P240を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
14	資料・日程管理とオフィス管理	予習：教科書 P243～P270を熟読しておくこと(30分) 復習：過去問題のまちがった所をやり直す(30分)
15	総括・試験	予習：教科書全てを見直し過去問題を再度解いてみる(2時間) 復習：試験でわからなかった所を確認しておく(30分)

《専門科目》

科目名	法学概論				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

この講義では、私たちの生活を支える「法」の仕組みについて解説する。現代日本の社会のありようを「法」という観点から考えてみよう。具体的には憲法、行政法、刑事法、民事法、労働法その他法学といったくくりで日本の「法」の仕組みを解説する。

《教科書》

指定しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

指定された回のミニツツペーパーの提出と解説。

《授業の到達目標》

①具体的説例に対し、何法が問題となっているか、身近な場面でのどのように関わっているのかを理解し、③どう解釈し対応すべきかについて考えることができるようになること。

《成績評価基準》

授業への取り組み、ミニツツペーパーを中心に総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 90% 実技 %  
 授業への取組 10%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中必要に応じて指定する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに 法の分類	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
2	幸福追求権、プライバシーの権利	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
3	平等権	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
4	生命倫理と法①	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
5	生命倫理と法②	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
6	犯罪と刑罰①	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
7	犯罪と刑罰	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
8	前半の復習と見直し	今までの課題を仕上げ、提出すること。(2時間)
9	家族生活と法①	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
10	家族生活と法②	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
11	労働と法①	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
12	労働と法②	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
13	政治・行政腐敗の原因と対策	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
14	総復習	授業内容の復習と課題の作成(2時間)
15	後半の復習と課題の提出	後半の課題を仕上げ提出すること。(2時間)

《専門科目》

科目名	憲法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-OP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

憲法は国の基本法といわれています。憲法は何のためにあるのか、憲法は何を守るためにあるのかについて理解し、そこを出発点にして基本的人権、三権分立、国民主権等の憲法の基本原理の理解を深めていきたい。憲法の諸問題は、私たちの生活に直接関係ないように思えるかもしれませんが、実は身近なものであることを事例を用いつつ学んでいきたい。

《教科書》

ピンポイント 憲法 （三省堂）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ミニッツペーパーを実施した後に全体に対して簡単な解説を行う。

《授業の到達目標》

- ①日本国憲法の主な規定の意味を理解する。
- ②日本国憲法に期待される役割を理解する。
- ③日本国憲法が現に果たしている役割を理解する。

《成績評価基準》

随時行うミニッツペーパーとまとめのテストで総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %  
 課題 50% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	日本国憲法は何を守る法律か？について理解を深める。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
2	人権総論①	テキスト第2章 1. 人権の概念～4. 外国人の人権 テキストの該当箇所を理解する(2時間)
3	人権総論②	テキスト第2章 9. 包括的基本権～11. 平等権 テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
4	精神的自由権①	テキスト第2章 12内心の自由 13. 信教の自由、政教分離原則について理解を深める。 テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
5	精神的自由権②	テキスト第2章 14. 表現の自由について理解を深める。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
6	経済的自由権	営業の自由、財産権について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
7	社会権	社会権の特徴、社会権の内容について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
8	人身の自由	被疑者の権利、被告人の権利を区別してそれぞれについて理解を深める。 テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
9	人権の総復習	今までの授業の全範囲を復習し、理解すること。 テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
10	国会①	三権分立、国会の最高規範性について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
11	国会②	国会の会期、役割、各議院の権能について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
12	内閣	内閣の権能、議院内閣制、内閣総理大臣の権能について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
13	裁判所①	司法権とは何か、司法権の限界について理解する。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
14	裁判所②	裁判の仕組み、裁判員制度について理解を深める。テキストの該当箇所を理解する。(2時間)
15	総復習とまとめのテスト	全体の復習と試験勉強を行う。(2時間以上)

《専門科目》

科目名	刑法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

さまざま事例に即して、刑法の言葉（専門用語）や考え方を学んでいく。事例について、まずは自分の直観を確かめ、判例や他の考え方との違いに気づき、理論的に説明できるようになる。

刑法総論分野においては、抽象的な用語を用いて、犯罪の本質について考える。

《教科書》

佐久間修・橋本正博（編）『刑法の時間』（有斐閣・2021年）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

毎回講義内容を復習するコメントへ「ハ」を課す。教員が採点・コメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

刑法総論（すべて「犯罪」に共通する内容）における、基本的概念や判例の内容について修得することができ、事例ごとに条文や刑法学説に応じて判断し、刑事司法制度や犯罪対策も踏まえて、自らの考えを表現することができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ を達成できたかを、毎回のコメントへ「ハ」（45%）と筆記試験（55%）で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %  
 課題 45% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	罪刑法定主義	【予習】教科書の該当頁(2頁～12頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
2	刑法の見取り図	【予習】教科書の該当頁(13頁～20頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
3	実行行為と結果	【予習】教科書の該当頁(21頁～29頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
4	因果関係	【予習】教科書の該当頁(30頁～38頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
5	不作為犯	【予習】教科書の該当頁(39頁～45頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
6	故意・錯誤	【予習】教科書の該当頁(46頁～55頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
7	過失	【予習】教科書の該当頁(56頁～62頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
8	正当防衛	【予習】教科書の該当頁(63頁～72頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
9	責任・責任能力	【予習】教科書の該当頁(73頁～81頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
10	違法性の錯誤	【予習】教科書の該当頁(82頁～90頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
11	未遂犯	【予習】教科書の該当頁(91頁～99頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
12	正犯と共犯(1)	【予習】教科書の該当頁(100頁～108頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
13	正犯と共犯(2)	【予習】教科書の該当頁(109頁～110頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
14	刑法の目的・罪数	【予習】教科書の該当頁(117頁～120頁)を熟読する(1時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(1時間)。
15	まとめ	【予習】これまでに学習した内容を復習する(5時間)。 【復習】授業内容をまとめて記録(ポートフォリオ)(3時間)。

《専門科目》

科目名	民法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

民法の基本について、条文に定められたルールをどのように適用するかを中心に学習していく。探求課題を通じて学習成果を自らまとめ、発展課題について考えることができる。

《教科書》

松久三四彦ほか『オリエンテーション民法〔第3版〕』（有斐閣・2024年）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

探求課題についてはコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

ビジネスの基本である民法について、基本概念や判例について理解することができる。具体的な事例について、債権法のルールを適用して判断することができる。さらに、民事トラブル一般に関心をもち、自分の意見を表すことができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に到達したかを探求課題と授業への取組みによって測定する。

《成績評価の方法》

探求課題 80%  
 授業の取組 20%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション	【予習】教科書の該当ページ(p.3-14)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
2	結婚(婚姻)について	【予習】教科書の該当ページ(p.327-337)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
3	離婚について	【予習】教科書の該当ページ(p.337-344)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
4	学びを深める(探求課題)	【予習】これまで学んだ内容を復習する・探求課題について考える(2時間) 【復習】探求課題を完成させる(2時間)
5	学びを深める(探求課題)	【予習】これまで学んだ内容を復習する・探求課題について考える(2時間) 【復習】探求課題を完成させる(2時間)
6	財産法の基本 ～債権と債務	【予習】教科書の該当ページ(p.34-45)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
7	契約の主体(1) ～未成年と契約	【予習】教科書の該当ページ(p.48-60)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
8	契約の主体(2) ～高齢者と契約	【予習】教科書の該当ページ(p.60-68)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
9	学びを深める(探求課題)	【予習】これまで学んだ内容を復習する・探求課題について考える(2時間) 【復習】探求課題を完成させる(2時間)
10	契約の成立(1)	【予習】教科書の該当ページ(p.86-93)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
11	契約の成立(2)	【予習】教科書の該当ページ(p.93-98)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
12	契約の成立(3)	【予習】教科書の該当ページ(p.99-108)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
13	消費者契約法	【予習】教科書の該当ページ(p.109-117)を読んでおく(1時間) 【復習】学んだ内容をまとめて記録する(1時間)
14	学びを深める(探求課題)	【予習】これまで学んだ内容を復習する・探求課題について考える(2時間) 【復習】探求課題を完成させる(2時間)
15	学びを深める(探求課題)	【予習】これまで学んだ内容を復習する・探求課題について考える(2時間) 【復習】探求課題を完成させる(2時間)

《専門科目》

科目名	家族法				
担当者氏名	吉田 俊介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

家族法は、結婚・離婚、出生・親子、死亡・相続など、誰もが直面する出来事についてこれらを規律する法であり、私たちの生活に直結している法である。この講義では、高度な法知識というよりは、日常生活に生かせる社会常識としての法知識習得を目指すこととする。

《教科書》

「新ブリエール民法5 家族法」（床谷文雄ほか（法律文化社）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験後、講評あるいは解説を、HP 等に掲載します。

《授業の到達目標》

家族に関する基本的法制度、知識を理解し、独立した社会人として生きていくための力をつける。具体的には、夫婦・親子・相続に関する家族法の基本的枠組みを理解できること。法学検定に照らせば、ベーシックコースの問題がクリアできる程度を目指す。知識の習得に拘らず、その根底にあるリーガルマインドを学ぶことを第一とする。

《成績評価基準》

平常点（授業態度、毎回の授業最後の出席クイズ）、筆記試験により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験70% レポート0%  
 課題0% 実技0%  
 授業の取組30%  
 その他( )0%

《参考図書》

判例つき六法  
 授業で使用するレジюме

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに - 法律を学ぶ基礎 -	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
2	家族法の基本的知識	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
3	婚姻の成立	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
4	婚姻の効果	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
5	離婚	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
6	実子	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
7	養子	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
8	親権	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
9	後見・扶養	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
10	相続 - 総説 -	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
11	法定相続	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
12	相続の承認・放棄	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
13	遺言による相続	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
14	家族法改正の動向等	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）
15	まとめ	予習：教科書の該当部分を読んでおく（2時間） 復習：配布のレジюмеで内容を復習（2時間）

《専門科目》

科目名	ミクロ経済学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0p3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、ミクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要な「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

ミクロ経済学は個人として、企業として「私たちがどのような選択をするべきか」についての基準を教えてくれる学問である。この講義では、なるべく身近な話題を用いながら「消費者としての選択や企業としての行動がなぜ選択されたのか」を明解に解説する。最終的な目標として、受講生が「日々の生活や新聞ニュースで目にする社会」を俯瞰的に捉え理解し、自分なりに意見を出せるようになることを目指す。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験（第10回講義） 30%  
 筆記試験（第15回講義） 40%  
 授業の取組 30%

《参考図書》

・坂井 豊貴(2017)『ミクロ経済学入門の入門』岩波書店  
 ・西森 晃(2012)『これから経済学をまなぶ人のための数学基礎レッスン』日本経済評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ミクロ経済学とは何か	予習：ミクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	需要と供給とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	市場均衡とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	総余剰と需要曲線・供給曲線のシフト	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	消費者の理論(1)：消費者の性質	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	消費者の理論(2)：予算制約式について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	消費者の理論(3)：最適な需要量について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	生産者の理論(1)：平方完成による利潤最大化問題	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	生産者の理論(2)：微分による利潤最大化問題	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	中間試験	予習：第1回～第9回の全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）
11	ゲーム理論の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	ゲーム理論の活用	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	動学ゲーム理論の基礎	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	機会費用：「良い選択」を出す方法	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	金融論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、金融論の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義で「金利計算」等を行う際に必要となる「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

授業の到達目標は以下の通りである。

1. 基礎知識を学ぶことで、金融に関連する経済現象が起こる理由を学生自身で理解・説明できる能力を養う。
2. 金融・経済関連のニュース・記事等から発信される情報を深く理解できるようになる。
3. 金融に対する興味を深め、学生自身の長期的なライフスタイル形成やキャリア形成に活用できる知識・教養を養う。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%  
課題 20%  
授業の取組 30%

《参考図書》

・川西 諭(2013)『金融のエッセンス』株式会社有斐閣  
・奥野 一成(2021)『ビジネスエリートになるための教養としての投資』ダイヤモンド社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	金融とは何か	予習：金融論とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	「債権」とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	「株式」とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	「投資信託」とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	「保険」とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	「資本」と「投資」とは何か(1)投資の役割	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	「資本」と「投資」とは何か(2)資本主義の意味	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	「株式会社」のしくみ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	「投資の収益率」と「利率」(1)収益率の計算	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	「投資の収益率」と「利率」(2)複利による計算	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	「収益率」を使った投資判断	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	さまざまな投資による収益	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	2つの金融システム：直接金融と間接金融	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	もし金融がなかったら：金融システムの役割	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	社会保障				
担当者氏名	日野 将也、吉田 里香				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

社会福祉士・介護福祉士の資格を有し福祉分野での支援の経験を持つ者が、それぞれの生きづらさを抱える場面においてどのような制度的・对人的サポートが行われるかを具体的に説明する。それぞれの場面において、自分ならそれをどのように感じるかを考えながら受講してほしい。講義で説明を受けた社会制度が自らの生活に深くかかわっているものであることを日常生活において実感することで、より理解が深まるだろう。

《授業の到達目標》

現代社会における社会福祉・社会保障制度の意義と歴史について理解し、具体的に述べる。  
社会保障制度の実施体系を知り、身の回りの問題と関係づける。  
生活上の困難に直面する人へのコミュニケーションの方法や求められる視点を理解し、自らの言葉で表現する。

《成績評価の方法》

筆記試験 80%  
授業への取り組み 20%

《教科書》

プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験のフィードバックとして、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

期末試験によって評価する。社会福祉・社会保障制度の意義・概要・求められる視点について理解できているかを問う。また身の回りの具体的事例と学んだことを関連付けて問題点を抽出し、社会保障制度と関連付けて自らの言葉で表現できているかを問う。また授業への取り組みも評価に加える。

《参考図書》

はじめての社会保障(棕野美智子・田中耕太郎)(有斐閣)  
新 社会福祉とは何か(大久保秀子)(中央法規)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	講義要項を読み、講義の概要を把握し、講義内容を身の回りの生活困難な場面について関連づけてイメージし、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
2	社会福祉の原理	プリントを読み、講義内容を整理しておくこと。(予習復習計4時間)
3	社会福祉の歴史	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
4	年金制度	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
5	医療保険制度	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
6	雇用保険・労働者災害補償保険・働く人の法律	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
7	生活保護制度	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
8	社会福祉関連専門職	プリントを読み、講義内容を整理しておくこと。(予習復習計4時間)
9	対人援助の展開過程	プリントを読み、講義内容を整理しておくこと。(予習復習計4時間)
10	対人援助の原則	プリントを読み、講義内容を整理しておくこと。(予習復習計4時間)
11	児童家庭福祉	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
12	障がい者福祉	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
13	高齢者福祉・介護保険制度	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
14	地域福祉	プリントを読み、講義内容を自らの身のまわりの問題と関連づけて、整理しておくこと。(予習復習計4時間)
15	まとめ	今までの講義内容を、整理しておくこと。(復習4時間)

《専門科目》

科目名	ファイナンシャルプランナー A				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<small>1-0P3 3. 専門的知識・技術・技能</small> ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 <small>1-0P5 5. 実践的応用力</small> 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。前後期1年間を通して、ライフプラン・保険・資産運用・不動産・税金・相続の6分野について基礎知識を学ぶ。  
 授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある  
 指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《教科書》

うかる! FP3級 速攻テキスト 2025 2026年版(予定)(例年5月下旬発行のため授業内で指定)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。人生をよりよく暮らすための知識付けを目的とし、国家資格 FP 技能士を取得する際にスムーズに勉強を始めるための素地作りを目標とする。

《成績評価基準》

受講態度を主とした課題実施等の取り組み等の「姿勢」、ミニテスト等「課題」、「筆記試験」を評価項目とする

《成績評価の方法》

筆記試験 40%  
 課題 20%  
 授業の取組 40%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

うかる!FP3級速攻問題集2025 2026年版(予定・5月下旬発行のため授業内指定)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	FP 概論、ライフプランと資金計画	(予習なし、復習2時間) 配布資料を熟読・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること。
2	ライフプランと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書の該当箇所を読むこと・自分や家族に当てはめて考えてみること。
3	リスク管理(生命保険)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること
4	リスク管理(生命保険)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
5	リスク管理(損害保険)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
6	リスク管理(損害保険)、ミニテスト	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。ミニテストの復習。
7	社会保険制度	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
8	社会保険制度・公的年金制度	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
9	公的年金制度等	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。
10	公的年金制度等、ミニテスト	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。ミニテストの復習。
11	金融資産運用(金融経済、貯蓄型商品)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
12	金融資産運用(貯蓄型商品)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。計算がスムーズにできるよう復習すること。
13	金融資産運用(投資型商品)	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。指定する課題について調べること。
14	金融資産運用(投資型商品)、ミニテスト	(予習復習各2時間) 配布資料・指定教科書を熟読すること。ミニテストの復習。
15	まとめ(期末試験)	(復習2時間) 指定教科書の該当箇所を再度熟読し、期末試験に向けて苦手部分を復習すること。

《専門科目》

科目名	簿記				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

企業は、毎日様々な活動を行っている。企業は、この日々の取引を複式簿記という「物差し」を使って貨幣価値に直し、それらを記録し、財産や利益の計算をしている。この授業では、複式簿記の仕組みについて学ぶ。なお、この授業では日商簿記検定初級の範囲を扱う。毎回必ず電卓を持参すること。

《教科書》

鶴見正史編著『複式簿記概説』五紘舎。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

企業会計で用いられる複式簿記の仕組みを理解することを目標とする。  
企業活動において、基本的な仕訳ができるようになる。  
簡単な貸借対照表や損益計算書が作成できるようになる。  
電卓を使って早く計算できるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う(28%)。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う(72%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組 %  
その他(小テスト) 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	簿記とは何か	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
2	仕訳の基本・商品売買(1)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
3	商品売買(2)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
4	商品売買(3)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
5	現金・預金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
6	手形と電子記録債権(債務)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
7	貸付金・借入金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
8	その他の債権債務(1)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
9	その他の債権債務(2)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
10	租税公課と資本金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
11	帳簿への記入	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
12	試算表	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
13	貸借対照表と損益計算書の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
14	伝票と仕訳日計表	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと(2時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(2時間)。

《専門科目》

科目名	経営学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・必修	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

企業経営について学んでいく上で最も基礎的な科目である経営学について学ぶ講義である。その際、企業の基本的な活動を理解するために、戦略、経営組織、経営管理、会計学入門などの諸理論の基礎を重点的に扱う。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験(50%)、授業への取組(30%)および、課題提出状況(20%)によって測定する。

《授業の到達目標》

本講義では経営学の教科書を中心とした専門知識の理解に留まるだけではなく、現実の企業が実際にどのような方針(経営戦略や事業戦略)を立て、その方針に基づいてどのような組織を作り、その仕組みの中でどのように「ヒト・モノ・カネ」を管理しているのか、という一連の経営活動を自らの考えで理解できるようにすることを旨とする。

《成績評価基準》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%  
課題 20%  
授業の取組 30%

《参考図書》

上林憲雄 他(2018)『経験から学ぶ経営学入門[第2版]』有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	経営学とはどんな学問か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
2	現代の企業論	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
3	コーポレートガバナンス入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
4	経営理念と経営戦略	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
5	経営管理論入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
6	組織間関係論	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
7	生産管理論入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
8	組織構造と職務設計	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
9	モチベーションとリーダーシップ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
10	雇用システム	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
11	報酬制度	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
12	会計学入門	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
13	プラットフォームビジネス【その特徴について】	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
14	プラットフォームビジネス【映像資料の視聴】	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する(2時間) 復習：講義内容の見直し(2時間)
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する(5時間) 復習：講義内容の全体を振り返る(2時間)

《基礎科目》

科目名	茶道文化				
担当者氏名	黒岩 富美枝				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

1. 茶の湯の歴史
2. 実技 茶室（和室）での基本所作 客の心得 日本茶の種類と淹れ方 点前の基本割稽古とテーブル茶（盆点前） 茶の湯の道具と水屋の仕事
3. 日本の伝統文化について【東洋陶磁美術館見学】

《教科書》

プリントを配布する

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

次の授業時間に講評する

《授業の到達目標》

茶の湯は、日本古来より「もてなしの文化」といわれている。一服のお茶を点て、おもてなしの基本が身につくようになる。基本的な所作、手順の繰り返しで、点てられたお茶を感謝していただく 四季の移ろいや季節感を、茶室の床の間の軸、花や自分の周りで感じる 抹茶を楽しむ、自分に対してテーブル茶でお茶を点てて飲むことができる 伝統文化に関する話や実践を通して、茶道に興味・関心を持つことができる

《成績評価基準》

- 総合評価とする
1. レポートによる内容評価（期限内に提出）
  2. 実技の習得度
  3. 授業への積極的な取組

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 50 %  
課題 % 実技 30 %  
授業の取組 20 % その他 ( ) %

《参考図書》

江戸千家教本「基本の点前」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	刈込前 茶の湯とは？ 茶室の成り立ち	予習：シラバス確認 30分 復習：シラバスを読む 30分
2	茶室の成り立ち お辞儀 と客の心得（つくばい）	予習：シラバス確認 30分 復習：授業の復習 30分
3	茶室 基本所作「立居、 襖の開閉」・薄茶点前	予習：基本所作 30分 復習：授業の復習 30分
4	茶室 基本所作 服紗、 扇子の扱い方	予習：つくばいの使い方30分 復習：授業の復習 30分
5	客の心得 席入り 菓子 と薄茶のいだき方	予習：服紗の扱い 30分 復習：授業の復習 30分
6	日本茶の種類と淹れ方	予習：プリント確認 30分 復習：レポート作成
7	茶の湯の道具と水屋の成 立ち、水屋の仕事	予習：服紗の扱い 30分 復習：授業の復習 30分
8	割稽古（基本） 服紗の 扱い（服紗さばき）	予習：服紗の扱い 30分 復習：服紗さばき 30分
9	割稽古（基本） 薄茶器 ・茶杓を拭く	予習：服紗さばき 30分 復習：服紗さばき 30分
10	割稽古（基本） 茶巾の 扱い 茶筌通し、すすぎ	予習：服紗さばき 30分 復習：茶巾のたたみ方 30分
11	テーブル茶（盆点前）の 点前 茶碗の拭き方	予習：服紗さばき 30分 復習：茶巾の扱い 30分
12	テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客	予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分
13	テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客	予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分
14	福岡東洋陶磁美術館見学	予習：プリント確認 30分 復習：レポート作成
15	テーブル茶（盆点前）の 点前 亭主と客の役割	予習：服紗さばき 30分 復習：授業の復習 30分

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。日常会話でよく使う「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。毎回語彙テストを行い、語彙や熟語を増やすことを心掛け、TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは最終日に行います。

《授業の到達目標》

中学までに学んだ基礎的な文法や語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。

《成績評価基準》

授業で学習した基礎的な文法を理解しているか。日常会話に必要な表現が身についているか。基本的文法構造を理解し、読む書く聞く話すの4技能につながられているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート -%  
 課題 -% 実技 -%  
 授業の取組 35%  
 その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 87」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	英文構造について	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	品詞について Be動詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
3	一般動詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	一般動詞とBe動詞の区別、応用練習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	時制(現在、過去、現在・過去進行形)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	時制(現在、過去、現在・過去進行形)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	文の種類(肯定文、否定文、疑問文)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	文の種類(肯定文、否定文、疑問文)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	疑問詞を使う疑問文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	疑問詞を使う疑問文演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	接続詞を使った英作文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	接続詞を使った会話文	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	頻度の高い動詞句(希望、予定、強制)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	練習、前期学習内容の総復習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	前期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)

《専門科目》

科目名	日本語A総合				
担当者氏名	井上 理恵子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

留学生のための日本語授業です。日本の生活に必要な日本語能力を上げるためにも、日本語能力試験に合格するためにも、文法を学ぶことは大事です。授業の中で、文法の理解を深めながら、語彙力・読解力・会話力も身につけていきます。授業のあとは必ず復習をしてください。毎回必ず課題を解いて全授業に出席してください。

《授業の到達目標》

- ・授業で学んだ日本語文法をよく理解し、文を作ることができる。
- ・学校や生活に必要な説明文や指示文を読んで内容を理解することができる。
- ・日本語能力試験の問題において、正しい答えを導き出せる。
- ・身につけた文法・語彙を使って積極的に会話ができる

《成績評価の方法》

筆記試験 50%  
小テスト・課題 30%  
授業の取組 20%

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版（レベルによってN2またはN3）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

- ・理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。
- ・毎回、課題を提出し、次回返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》

- ・授業に真面目に出席していたか。
  - ・新しく学んだ文法や語彙を理解し、積極的に使おうとしていたか。
  - ・課題にきちんと取り組み提出していたか。
  - ・能力試験で正しい答えが導き出せるようになったか。
- 授業態度と課題提出と筆記試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業の進め方と予定説明 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認（30分） 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
2	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
3	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
4	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
5	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
6	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
7	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
8	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
9	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
10	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
11	模擬試験	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
12	模擬試験の解説 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
13	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
14	総復習 作文・会話 発表	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文（40分）
15	実力確認とまとめ	復習：授業内で学習した語彙・文法・総復習（60分）

《専門科目》

科目名	日本語B総合				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では、「聞く練習」しながら、N2レベルの文法を勉強します。「聞く練習」では、敬語を使った仕事の場面や、複雑なコミュニケーションの場面の話を聞く練習をします。そして、N2レベルの文法を身につけて、日本語能力のレベルアップを目指します。

《教科書》

TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 改訂版 (アスク出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・文法、語彙の練習(翌週解説の時間を設ける)
- ・小テスト(翌週解説の時間を設ける)

《授業の到達目標》

- ・さまざまな場面での話、会話を日本語で聞いて理解できる。
- ・将来仕事をするときに必要な敬語、文法表現を身につける。

《成績評価基準》

- ・まじめに授業/課題に取り組んだか。
- ・さまざまな場面での話、会話を聞いて、理解できるようになったか。
- ・敬語、文法能力は向上できたか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験40%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み30%

《参考図書》

・『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』(アスク出版) / 『日本語能力試験対応短期マスター聴解ドリル1 N2・N3ドリル』(凡人社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	聞く練習/文法	予習: テキストの内容/過去に学んだ文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
2	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
3	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
4	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
5	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
6	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
7	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
8	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
9	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
10	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
11	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
12	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
13	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
14	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
15	総まとめ	予習: 総復習(60分)

《専門科目》

科目名	日本語C総合				
担当者氏名	月原 万貴、高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では日本語でのコミュニケーション能力の向上を目指します。これまでに学んだ日本を適切に使えるように「聞く」「話す」「書く」ための総合的な練習を行います。また、日本で生活し仕事をするために必要な語彙や文法・敬語を習得します。日本語能力対策授業も行います。

《教科書》

『JLPT 文法 N3 ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題・小テストについては、翌週解説、フィードバックの時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・さまざまな場面の日本語を聞きとり、内容を理解できる。
- ・適切な語彙・文法を使いコミュニケーションがとれる。
- ・状況に応じた敬語表現が使える。

《成績評価基準》

- ・授業や課題にまじめに取り組んだか。
- ・適切な語彙・文法を使ってコミュニケーションがとれるか。
- ・状況に応じた敬語表現が使えるか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験40%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み30%

《参考図書》

- ・『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』（アスク出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション/レベルチェックテスト	予習：テキストの内容/過去に学んだ文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
2	文法 1, 2 敬語：訪問する 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
3	文法 3, 4 敬語：訪問する 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
4	文法 5 1~5 まとめ 敬語：簡単に挨拶する 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
5	文法 6, 7 敬語：簡単に挨拶する 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
6	文法 8, 9 敬語：誘う 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
7	文法 10 1~10まとめ 敬語：誘う 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
8	文法 11, 12 敬語：お願いする 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
9	文法 13, 14 敬語：お願いする 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
10	文法 15 11~15まとめ 敬語：断る 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
11	JLPT模擬試験	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
12	JLPT模擬試験 FB	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
13	文法 16, 17 敬語：断る 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
14	文法 18, 19 敬語：復習	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認(30分)
15	アチーブメントテスト、まとめ	復習：総復習(60分)

《専門科目》

科目名	アジア文化交流史				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。				

《授業の概要》

日本との長い文化交流を時系列で紹介する  
理解を深めるために 様々な資料やパワーポイントなどを用いる

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストと課題レポートの提出

《授業の到達目標》

文化交流がもたらされた歴史の必然性を理解する  
過去の歴史が現代に影響し 未来を形づくることを意識化させる

《成績評価基準》

毎回確認テストを行い 理解の確認する  
日本の文化とアジアの文化が どのように交流が行われ  
現代にいたっているかを 理解できているか

《成績評価の方法》

筆記試験70 % レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組30 %  
その他 ( ) %

《参考図書》

世界の歴史ノート

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	オリエンテーション 日本の姿	復習	日本のすがた(1時間)
2	人類の誕生 ホモサピエンスとは	予習 復習	農業革命(1時間) 私たちのせんで ホモサピエンス(1時間)
3	農業が私たちの社会をか えた 大陸の関係	予習 復習	原始時代 ホモサピエンスと適応(1時間)
4	日本の歴史の流れ 石器から土器へ	予習 復習	平安時代(1時間) 米がしゃかいに与えた影響(1時間)
5	日本統一と古墳 仏教の影響 朝鮮半島	予習 復習	奈良時代 石器と土器(1時間)
6	あすか時代 奈良時代 仏教文化	予習 復習	平安(1時間) こふんと 仏教
7	律令とは 平安時代	予習 復習	平安時代(1時間) 奈良時代(1時間)
8	平安文化 ひらがな・カタカナ	予習 復習	平安中期 平安初期
9	侍の登場 侍による政治	予習 復習	鎌倉時代 平安時代 全般
10	元が日本を襲う 鎌倉時代の終わり	予習 復習	鉄砲の伝来(2時間) 鎌倉のあとの世界(1時間)
11	鉄砲とキリスト教が日本 へくる	予習 復習	戦国時代 なぜ鉄砲とキリスト教が日本へきたのか その狙いは
12	織田信長から徳川家康	予習 復習	江戸時代(1時間) 織田信長～徳川家康への流れ (1時間)
13	平和国家 江戸時代の政 治と文化	予習 復習	現代までの内容(1時間) どのように日本は復活したのか そして停滞していったのか(1時間)
14	江戸の文化 復習	復習	対策テストの理解 (1時間)
15	評価テストとFB	復習	テスト問題の復習

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	池田 桂子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

企業が求める資質として一番上がるのはコミュニケーション力です。社会に出る準備として、様々なシーンで知っておくべきビジネスマナーの基本を学び、自信を持ってコミュニケーションをとることができるようになります。

《教科書》

よくわかる 自信がつくビジネスマナー

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実践的な授業を心がけ、分かりやすく解説を行う。

《授業の到達目標》

- ・ 社会人基礎力を身につける。  
(挨拶・身だしなみ・立ち居振る舞いなど)
- ・ 初対面でも好印象を与えることができる。
- ・ 自分の考え・意見を分かりやすく伝えることができる。
- ・ 正しい言葉遣いができるようになる。
- ・ メール・電話などのビジネスマナーを身につける。

《成績評価基準》

授業での演習を通して思考力、分析力・語彙力を身につけることができたかを評価する。  
授業内での積極性を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
授業の取組 30%

《参考図書》

適宜紹介する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 自己紹介のやり方	予習、復習は必要なし。
2	服装と身だしなみ 立ち居振る舞い、挨拶	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
3	コミュニケーションの概要	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
4	話し方・聞き方の基本	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
5	依頼の仕方、断り方	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
6	会議、ミーティング	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
7	敬語の使い方	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
8	接遇用語の使い方 報・連・相	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
9	初対面の人へのマナー 来客対応、他社訪問	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
10	電話対応 かけ方、受け方	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
11	ビジネスメールの概要 メールの作成	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
12	ビジネス文書の概要 文章の書き方	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
13	慶事・弔事のマナー テーブルマナー	予習は必要なし。授業で学んだことを実践できるように復習する
14	復習・まとめ	予習は必要なし。前期で学んだことを総復習し、試験に備える
15	期末テスト・まとめ	試験で出た問題で分からなかった箇所を、教科書で確認しておく

《専門科目》

科目名	ビジネスプレゼンテーション				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

プレゼンテーションは、授業での口頭発表、就活、仕事上の企画や報告など様々な場面で必要とされるスキルである。またプレゼンテーションには、発表のテクニックだけではなく、論理的思考および文章力も必要になる。この授業ではプレゼンテーションとは何かを理解し、伝えたいことを論理的に考察し、適切な音声・スライド・文章表現などを身につけて発表できるスキルを身につける。

《授業の到達目標》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができる。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につける。

《成績評価の方法》

- 授業内発表 40%
- 課題 30%
- 授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する。

《成績評価基準》

- ・目的に応じて効果的な文章表現を作成し、プレゼンテーションを設計することができたか。
- ・聴き手を意識したわかりやすく、説得力のあるプレゼンテーションができたか。
- ・文章作成や発表を通して、適切な音声やスピードで人前で話すスキルや批評力を身につけることができたか。

《参考図書》

- 『1分で話せ』伊藤羊一 (SBクリエイティブ)
- 『ビジネスプレゼンテーション』森脇道子・武田秀子 (実教出版)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	プレゼンテーションの基本	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	プレゼンテーションの基本 (PREP法)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	プレゼンテーションの基本 (根拠とは)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	レポートを書く (テーマの動機付け)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	レポートを書く (段落構成の作り方)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	レポートを書く (文章作成)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	実習 (プレゼンテーション作成)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
9	実習 (中間発表)	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
10	相手に伝える話し方	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	プレゼンテーションのテクニック	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
12	プレゼンテーションのテクニック	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
13	プレゼンテーションのテクニック	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
14	授業内発表	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)
15	発表評価と振り返り	予習: 提示された課題について調べておく。(30分) 復習: 配布資料を熟読し、自らの文章とスライドを推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的IT基礎演習とプログラミング				
担当者氏名	柿山 達哉、森田 典子				
授業方法	演習	単位・必修	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

IT基礎 -1 (パソコン操作、Windows操作、Google操作、メール操作、Google Workspaceの基本操作、セキュリティ)  
 EXCEL表作成基礎  
 生成AI  
 ドローンプログラミング体験  
 テーマは進度に応じて変更することもある。  
 定員を上回る場合は調整がある。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身につけることが目標  
 時代の変化についていけるように、ITを使って調べ考える力を身につける。  
 ITの最新の流行を知る。

《成績評価の方法》

課題 60%  
 授業の取組 40%  
 上記評価に出席率を加味して総合評価点をつける。

《教科書》

必要な教材は講義時に配布するか、事前にメールで送る。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に提出する講義レポートの内容と、講義で与えた課題を提出してもらい評価をする。出席率も大きな評価ポイントになる。

《成績評価基準》

- ・ 講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・ 課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・ 課題を理解して自分の力として身につけることができたか。
- ・ 講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	IT基礎 -1	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	EXCEL基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	EXCEL基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	EXCEL基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	EXCEL基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	EXCEL基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	生成AI	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	ドローンプログラミング体験	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	ドローンプログラミング体験	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	振り返り	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

---

1 年 後 期

---

《基礎科目》

科目名	スポーツ理論と実践				
担当者氏名	坂元 瑞貴				
授業方法	実技	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

本授業では「健康スポーツ」「球技スポーツ」「ラケットスポーツ」「ニュースポーツ」「パラスポーツ」等を行い、様々なスポーツについて知り、生涯を通してスポーツを楽しむための知識・技能を養う。

《教科書》

必要に応じて、資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ルールについての試験を随時行い、その都度解説を行う。

《授業の到達目標》

1. 日常生活における運動・スポーツの重要性を理解し、生涯を通してスポーツを楽しむことができる。
2. 実施するスポーツのルールを理解し、実践できる。
3. スポーツを通し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取ることができる。

《成績評価基準》

実施するスポーツのルールを理解し、チームメイトや対戦相手とのコミュニケーションを取りながら、実践することができる。

《成績評価の方法》

実技 30%  
授業の取組 70%

《参考図書》

観るまえに読む大修館スポーツルール2020(大修館書店編集部)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション アイスブレイク	怪我の予防のため、身体を動かしておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
2	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
3	健康スポーツ	「運動」「栄養」「休養」のバランスを整え、健康を保つ(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
4	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
5	球技スポーツ	「バレーボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
6	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
7	球技スポーツ	「バスケットボール」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
8	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
9	ラケットスポーツ	「バドミントン」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
10	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
11	ラケットスポーツ	「卓球」のルールについて予習しておく(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
12	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
13	ニュースポーツ	ニュースポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
14	パラスポーツ	パラスポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)
15	パラスポーツ	パラスポーツの種目について調べる(30分) 今回の授業内容の復習(30分)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和、阿南 善久				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では、学校行事やグループワークを通して、社会人基礎力を身につける。また、外部講師による講義や進路に関する説明を聞き、自分の進路を決定する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、課題によっては教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学修ポートフォリオ」に保存すること。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する(80%)。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 80% 実技 %  
授業の取組 20%  
その他 ( ) %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：講義概要を読む(30分)。 復習：時間割の確認(30分)。
2	福浜祭打ち合わせ・準備	予習：福浜祭について考えておく(30分)。 復習：福浜祭の準備(30分)。
3	適性検査・福浜祭準備	予習：福浜祭の案を考えておく(30分)。 復習：福浜祭の準備(30分)。
4	福浜祭準備	予習：福浜祭の準備(30分)。 復習：福浜祭の準備(30分)。
5	福浜祭準備	予習：福浜祭準備(30分)。 復習：福浜祭準備(30分)。
6	適性検査解説・福浜祭振り返り	予習：福浜祭振り返り(30分)。 復習：適正検査の結果を振り返り強化すべきことを考える(30分)。
7	青少年法律講座(福岡県司法書士会)	予習：成人年齢に達して生じうる問題について考えておく(30分)。 復習：取り扱った法律問題について理解を深める(30分)。
8	キャリア適性テスト	予習：自分のキャリアについて考える(30分)。 復習：テスト結果を踏まえて、進路および将来ビジョンについて考える(30分)。
9	エントリーシート作成	予習：自己PRやガクチカについて考える(30分)。 復習：授業で受けたアドバイスをもとに推敲する(30分)。
10	エントリーシート作成	予習：志望動機や長所・短所などについて考える(30分)。 復習：授業で受けたアドバイスをもとに推敲する(30分)。
11	内定者報告会	予習：自分で作成したエントリーシートを見て、就職活動について調べる(30分)。 復習：2年生の報告について課題を作成する(30分)。
12	ポートフォリオ作成	予習：指定されたテーマのポートフォリオを作成準備(30分)。 復習：自分のポートフォリオの完成(30分)。
13	敬語を使う練習	予習：敬語やビジネスマナーについて調べる(30分)。 復習：敬語についての課題に取り組む(30分)。
14	1・2年生交流会	予習：2年生に質問する事項を考える(30分)。 復習：2年生から受けたアドバイスをもとに今後について考える(30分)。
15	春期休暇前指導・1年生向けゼミ紹介	予習：春期休暇の計画を立てる(30分)。 復習：キャリア演習 授業全体を振り返る(30分)。

《基礎科目》

科目名	ワークショップ演習				
担当者氏名	大谷 美咲、阿南 善久				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-DP4 4.創造的思考力 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。				

《授業の概要》

この科目は、就職、起業、公務員志望者対象のワークショップです。2つのグループに分け、就職・起業グループは、組織の作り方、運営の仕方から利益を得るためにはどうしたらよいか等、公務員グループは社会貢献マインドを身につけ地域のためになることはないか等について実践を通して学んでいく。

《教科書》

指定しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

業務日誌・レポートの作成と提出とそれに対するコメント

《授業の到達目標》

就職・起業グループ

会社組織の仕組みについて理解する。 事業を軌道に乗せるためには何が必要かを学ぶ。 社会人としてのマナー等を身につける

公務員グループ 社会貢献活動について、その活動の目的について理解する。 社会貢献マインドを養う。 公務員等社会貢献性の高い職業への意欲を高める。

《成績評価基準》

授業の到達目標について、毎回の活動の取組みと報告書、レポート課題等で総合的に評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート20 %  
 課題 40% 実技 %  
 授業の取組 40%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

必要に応じて授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	前期の授業の復習・見直しをしておくこと(2時間)
2	試作	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
3	試作 店舗準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
4	店舗準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回報告できるようにしておくこと。(2時間)
5	福浜祭出店準備	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと。(2時間)
6	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと(2時間)
7	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと(2時間)
8	福浜祭出店	授業で必要となることについて毎回webで調べて次回実施できるようにしておくこと(2時間)
9	株主総会準備 企画広報会議開催	必要資料の作成(2時間)
10	株主総会 決算報告 企画広報会議 報告	必要資料の作成(2時間)
11	この活動を就活に役立てよう	福浜祭出店についての振返りを行っておくこと。(2時間)
12	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
13	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
14	同上	必要なレポート・報告書の作成(2時間)
15	活動の総括	全体を通して学んだことについて考えておくこと。(2時間)

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（民間企業）				
担当者氏名	池田 桂子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

自分を知ることから始めて、どのようなキャリアプランをデザインしていくかを考え、自分が望む就職ができるように、必要なスキルを実践的に学んでいく。

《教科書》

西短進路指導部『就職活動ハンドブック』

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

実技試験、課題は個別にコメントを伝え、最終日に総括としてフィードバックを行う。

《授業の到達目標》

自分のキャリアプランを考え、就職活動にどのように取り組むかを学び、必要なスキルを身につけることを目標とする。

自己分析を行い、自分のキャリアプランを設計する 企業研究を行い、どのような働き方をしたいのかを明確にする 自己PR、志望動機など、相手にきちんと伝えることができるようになる 面接、グループディスカッション等で、自分の力が十分発揮できる力を身につける。

《成績評価基準》

授業に取り組む姿勢と、模擬面接実技試験及び筆記試験により、授業目標 ~ の到達度を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50 % レポート %  
 課題 % 実技 20 %  
 授業の取組 30 % その他 ( ) %

《参考図書》

適宜紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：就活ハンドブックを通読してくる（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
2	自己分析1 自分自身を知る	予習：これまでの自分自身を振り返っておく（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
3	自己分析2 成功体験、失敗体験から学んだこと	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
4	エントリーシート、履歴書の書き方	予習：個別課題（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
5	企業研究1	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
6	企業研究2	予習：個別課題（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
7	社会人マナーの基本1	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
8	社会人マナーの基本2	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
9	集団面接練習	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
10	グループディスカッション1	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
11	グループワーク	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
12	グループディスカッション2	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
13	個別面接練習	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
14	模擬個別面接実技試験	予習：前回の講義内容の振り返り（2時間） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）
15	総括・筆記試験	予習：授業で学んだことを全て確認しておく（2時間以上） 復習：講義内容をまとめ直す（2時間）

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート（公務員）				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

公務員の仕事内容、公務員試験の内容、作文・論文対策、学習計画、人物試験(面接・集団討論)対策についてレクチャーを受け、基礎的な知識を身につける。さらに、課題を通じて、文章力やコミュニケーション能力など実践的な力を養う。

《教科書》

なし。毎回資料を配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期限までに提出された課題に、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

公務員試験(初級・中級)合格を最終目標とし、以下 ～ を到達目標とする。

試験内容を熟知し、学習計画を立て、適宜修正していくことができる。自らの志望官庁に応じて、試験情報を収集することができる。公文書等の作成のために、論理的でわかりやすい文章を書くことができる。自己分析をし、公務員にふさわしい資質や能力を面接においてアピールすることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ について、どの程度達したかを課題(60%)と最終レポート(30%)によって測定する。また、積極的に発言するなど、受講態度(10%)も加味して評価する。

《成績評価の方法》

最終レポート 30%  
 課題 60% 実技 %  
 授業の取組 10%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・公務員の職種と仕事内容	【予習】シラバスを読み、公務員について調べておく(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
2	公務員の職種と仕事内容	【予習】公務員の仕事について調べ、自分の進路についても考える(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、現時点での希望職種を決定する(2時間)
3	1次試験(筆記試験)について	【予習】1次試験について調べる。高校の教科書を復習する(2時間) 【復習】講義で解いた問題の解答・解説を読む(2時間)
4	1次試験(筆記試験)について	【予習】1次試験について調べる。適性試験のサンプルを解いてみる(2時間) 【復習】講義で解いた問題の解答・解説を読み、復習する(2時間)
5	作文・論文対策	【予習】事前に配布される作文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、作文を修正する(2時間)
6	作文・論文対策	【予習】作文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
7	作文・論文対策	【予習】論文課題に取り組む(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
8	学習計画	【予習】筆記試験、作文・論文試験について振り返る(2時間) 【復習】これからの学習計画を立てる(2時間)
9	面接試験対策	【予習】面接試験について調べ、理解を深める(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
10	面接試験対策	【予習】面接の質問事項について、自らの考えをまとめる(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
11	面接試験対策	【予習】面接の質問に答える動画を撮影する(2時間) 【復習】他者からのコメント・アドバイスを受け、答え方の練習をする(2時間)
12	面接試験対策	【予習】面接官として、質問事項を考える(2時間) 【復習】講義内容を振り返り、課題に取り組む(2時間)
13	第1回学内公務員模試	【予習】筆記試験についてこれまでの学習を振り返る(2時間) 【復習】解答・解説を読み、復習をする(2時間)
14	集団討論対策	【予習】集団討論について調べ、理解を深める(2時間) 【復習】講義内容について振り返り、課題に取り組む(2時間)
15	まとめ	【予習】これまでの全内容を振り返る(2時間) 【復習】春休み以降の学習計画を立てる(2時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 B-1 ( 数的推理 )				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-06 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力をつけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説講義を聞き、典型問題を演習する。数回、確認問題が課題とされるので、期限内に提出する。

《教科書》

公務員合格ゼミ 数的推理 ( いいずな書店 )

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期間内に数回の演習課題と一度のミニテストを実施する。ともに、講義内で解説する。

《授業の到達目標》

履修分野(整数問題、方程式)において、合格水準の力をつける(7割程度の問題を解けるようになる)

《成績評価基準》

制限時間の中で、基本～標準問題を7割程度正解できるかどうか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・数の計算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	倍数・約数	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	覆面算・方阵算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	記数法・整数問題	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	数列	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	一次方程式・不等式	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	二次方程式	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	整数解・剰余	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	これまでの復習・ミニテスト	予習：1～8回講義の復習(2時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	濃度・割合・比	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
11	速度算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
12	時計算・年齢算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
13	仕事算	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
14	方程式の応用	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
15	まとめ	予習：これまでの講義の復習(3時間) 復習：今後の学習計画を立てる(2時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 C-1 (判断推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P6 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力をつけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

判断推理の各分野の典型問題の解説により、必要な知識、手法を理解し、その後、問題演習を行う。また、課題の演習により、知識を定着させる。

《教科書》

公務員合格ゼミ 判断推理  
(いいずな書店)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は講義中に解説する。

《授業の到達目標》

論理的思考、多角的思考を養い、判断推理典型問題を7割程度、解けるようになる。

《成績評価基準》

論理的思考ができるか。  
悉皆的な探索を間違いなく展開できるか。  
時間制限の中で、正解を導けるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
課題 30%

《参考図書》

学生の志望先に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・論理と命題	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の復習、課題演習(1時間)
2	対応関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	対応関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	順序関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	試合の勝ち負け	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	発言の真偽	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	文章条件推理のまとめ	予習：1～6講の復習(2時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	暗号の解読	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	集合と要素の数	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	操作の方法	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
11	数量の関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
12	経路と距離	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
13	方位と方角	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
14	位置関係	予習：教科書を読み、基本事項を理解する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
15	まとめ	予習：今までの復習(3時間) 復習：今後の学習計画(2時間)

《基礎科目》

科目名	パソコン基礎				
担当者氏名	川原口 久爾				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

1. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）の機能を把握し、基本的な操作ができるようになる。
2. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）を使用して必要な資料等を時間内に作成できるようになる。
3. 日本情報処理検定協会主催の情報処理技能検定試験 表計算の取得を目指す。

《授業の到達目標》

1. 表計算ソフト（MicrosoftExcel）で表作成、データ入力、計算式や関数を使用した計算、グラフの作成、データベースの利用まで、表計算ソフト（MicrosoftExcel）一連の操作を習得できる。
2. 日本情報処理検定協会主催の情報処理技能検定試験 表計算において、各自の目標とする級を取得する。

《成績評価の方法》

- 実技試験（検定）50%
- 課題30%
- その他（態度・取組等）20%

《教科書》

情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集（日本情報処理検定協会）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

1. 課題等を印刷もしくはメールにて提出をする。
2. 採点をし返却をする。
3. 返却後、出来ていない部分のやり直しをする。

《成績評価基準》

授業で提出した課題・実技試験（検定）の結果・内容と授業への取り組む姿勢等から総合的に評価する。

《参考図書》

日本情報処理検定協会ホームページ

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Excel機能の説明・入力練習	シラバスの確認・Excelについてインターネットで調べておく（30分） キーボードを使用しての入力練習（10分）
2	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
3	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
4	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
5	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
6	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
7	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
8	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
9	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
10	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
11	表計算の問題の作成手順と作成練習	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
12	実技試験（検定）	模擬問題集の解き方を読んでおく・検定対策（30分） 授業内容の復習（30分）
13	Excelの機能（データベース）の説明（課題）	Excelの機能についてインターネットで調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）
14	Excelの機能（テーブル等）の説明（課題）	Excelの機能についてインターネットで調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）
15	Excelの機能（条件書式等）の説明（課題）	Excelの機能についてインターネットで調べておく（30分） 授業内容の復習（30分）

《基礎科目》

科目名	ビジネスと法				
担当者氏名	渡部 忠信				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-OP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

社会で働いていく上で必要になる「取引の基本ルール」と「会社・雇用の仕組み」を学習する。①取引はどうやって行うか。違反するとどうなるか。②会社は何のために作られているのか。金銭の動きはどう把握され、企業業績にどう反映されるのか。③会社員の成績はどんな材料によって決まるか。給料体系はどうなっているか等、関連法を横断的に考察することで、将来、職業人として活躍するための素養を深めていく。

《授業の到達目標》

- ①取引のプロセス（契約の成立～終了）と、そこで発生するさまざまな契約上の責任を説明できるようになる。
- ②株式会社の設立手続を例にとりながら、出資者・各役員（取締役・監査役等）の役割と責任を説明できる。
- ③雇用の基本ルールと現行制度が抱える課題について、具体的に述べることができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート %  
 課題 20% 実技 %  
 授業の取組 30%  
 その他 ( ) %

《教科書》

使用しない。プリントを配布する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

適時に小テストを行い、次の授業の中で説明を行う。

《成績評価基準》

- 具体例を示しながら、債権と物権の両面から説明できたか。また、不法行為との対比もできているか。
- ②株式会社の「機関」を正確に理解しているか。「間接有限責任」「所有と経営の分離」との関係が指摘できているか。
- ③賃金の支払い・労働時間・休日・年次休暇解雇に関する現行法の規制と限界を理解できているか。

《参考図書》

適宜、紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業概要と注意事項の説明	シラバスを読んでおくこと。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
2	契約の締結、債権・物権、登記	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
3	契約責任の範囲・内容	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
4	不法行為と損害賠償責任	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
5	法人格の意義・法人の種類	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
6	会社の設立手続と株式	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
7	会社の機関（株主総会・取締役・監査役）	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
8	「入社」の法律関係と就業規則	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
9	賃金・労働時間・休日・年次有給休暇	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
10	育児休業・産前産後休暇	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
11	解雇と雇用関係の終了	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
12	所得税・法人税・消費税	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
13	社会保険と労働保険	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
14	グローバル社会と法（入管法、国籍法）	プリントの次回授業で進む範囲を熟読しておく。 ノートを整理して、自分なりにまとめておく。
15	ジェンダーと法	いままでの授業を振り返り、総まとめをしておくこと。

《基礎科目》

科目名	インターンシップ				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

夏期休暇、春期休暇の期間に、企業や官公庁、団体等の様々な職場で一定期間の就業体験を行う。受け入れ企業等から職場という貴重な経験の場の提供を受け実践的な学びを得る。  
 なお、インターンシップに参加するには1年生前期科目「インターンシップ実習指導」を履修していることが必須である。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習先企業の担当者からの課題、指導に従うこと。

《授業の到達目標》

- ①インターンシップの趣旨を理解できる。
- ②ルールとマナーを守って実習先での指導を忠実に受けることができる。
- ③主体的に就業体験を遂行できる。
- ④自身の今後の進路を主体的に設計できる。

《成績評価基準》

インターンシップ受け入れ先からの報告レポートに基づいて、到達目標に沿って総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

古閑博美『インターンシップ キャリア形成に質する就業体験』(学文社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
2	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
3	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
4	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
5	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
6	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
7	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
8	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
9	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
10	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
11	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
12	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
13	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
14	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間
15	5～10日間程度受け入れ先企業等で就業体験。	インターンシップ事前指導で学んだことを復習しておくとともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い予・復習すること。2時間

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート(アジアビジネス)I				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

留学生対象です。日本の就職活動は海外と異なり独特の採用計画と選考方法をとっています。新卒一括採用・合同説明会・エントリーシートなど、留学生にはわかりにくく日本ならではの就職活動について説明します。半年後に始まる就職活動に備えて、自己分析・業界研究・企業研究の仕方を学びます。

《授業の到達目標》

- ・日本企業の雇用システム・就活について理解し計画を立てることができる。
- ・基本的なマナーやコミュニケーションスキルを理解し、ロールプレイで実演できる。
- ・履歴書やエントリーシート、志望動機等を日本語で作成できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 30%  
 課題 30% 実技 %  
 授業の取組 40%  
 その他 ( ) %

《教科書》

進路指導部より配布される就職活動ハンドブック

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の小レポート、履歴書、エントリーシートは添削して返却しますので、必ず修正してください。面接練習とプレゼンテーションについては授業中にフィードバックします。

《成績評価基準》

- ・日本企業の雇用システムについて自分の言葉で説明し、自分の就活スケジュールを作成できたか。
- ・履歴書完成とエントリーシートの完成と提出ができたか。
- ・マナーを理解し、各種面接に取り組むことができたか。
- ・自分の不足部分を都度反省し記述できたか。

《参考図書》

適宜指示します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	日本の雇用システムと就活スケジュール	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：個人年間スケジュール作成 60分
2	外国人の就労について・ビザの種類	予習：就労ビザについて調べる 30分 復習：配布プリントの復習 30分
3	業界・業種・企業研究	予習：就活ハンドブック該当ページ 30分 復習：興味がある業界と企業を調べて小レポート 30分
4	職種研究	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：興味がある職種を調べて小レポート 30分
5	グループディスカッション・発表	予習：ディスカッションのテーマ準備 30分 復習：発表内容不足点小レポート 30分
6	自己分析・自己PR	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：自己分析・PR完成 60分
7	発表	予習：発表の準備 60分 復習：発表の不足点小レポート 30分
8	履歴書の書き方(PC・手書き)	予習：履歴書準備 60分 復習：履歴書完成 60分
9	エントリーシートの書き方(PC)	予習：エントリーシート準備 60分 復習：エントリーシート完成 60分
10	マナー 身だしなみ	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：身だしなみ不足点小レポート 30分
11	マナー コミュニケーション	予習：就活ハンドブック該当ページ予習 30分 復習：気付き小レポート 30分
12	面接 個人	予習：面接準備 30分 復習：面接気付き小レポート 30分
13	面接 集団	予習：面接準備 30分 復習：面接気付き小レポート 30分
14	面接 グループディスカッション	予習：グループディスカッション準備 60分 復習：GD 気付き小レポート・30分
15	プレゼンテーション	予習：プレゼンテーション準備 120分 復習：授業まとめ 30分

《専門科目》

科目名	刑法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

さまざま事例に即して、刑法の言葉（専門用語）や考え方を学んでいく。事例について、まずは自分の直観を確かめ、判例や他の考え方との違いに気づき、理論的に説明する。刑法各論分野においては、個別の犯罪現象について刑事政策的観点からも検討する。

《教科書》

佐久間修・橋本正博（編）『刑法の時間』（有斐閣・2021年）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

毎回講義内容を復習するコメントへ「ハ」を課す。教員が採点・コメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

刑法各論（個別の犯罪）における、概念や判例の基本について修得することができ、事例ごとに条文や刑法学説に応じて判断し、刑事司法制度や犯罪対策も踏まえて、自らの考えを表現することができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ を達成できたかを、毎回のコメントへ「ハ」（45%）と筆記試験（55%）で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %  
 課題 45% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	殺人罪・墮胎罪・遺棄罪	【予習】教科書の該当頁（122頁～129頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
2	暴行罪・傷害罪	【予習】教科書の該当頁（130頁～137頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
3	逮捕・監禁罪	【予習】教科書の該当頁（138頁～145頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
4	性犯罪	【予習】第3回で指示された資料を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
5	わいせつにかんする罪	【予習】教科書の該当頁（152頁～158頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
6	名誉毀損罪・業務妨害罪	【予習】教科書の該当頁（159頁～166頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
7	住居侵入罪	【予習】教科書の該当頁（167頁～171頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
8	窃盗罪	【予習】教科書の該当頁（172頁～180頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
9	強盗罪	【予習】教科書の該当頁（181頁～190頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
10	詐欺罪	【予習】教科書の該当頁（191頁～198頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
11	横領罪・背任罪	【予習】教科書の該当頁（199頁～206頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
12	放火罪	【予習】教科書の該当頁（207頁～215頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
13	偽造罪	【予習】教科書の該当頁（216頁～223頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
14	公務執行妨害罪・司法に対する罪	【予習】教科書の該当頁（224頁～234頁）を熟読する（1時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（1時間）
15	まとめ	【予習】これまでに学習した内容を復習する（5時間）。 【復習】授業内容をまとめて記録（ポートフォリオ）（4時間）

《専門科目》

科目名	民法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

「契約」、「不法行為」、「債務不履行」などを中心に、取引に関係する事例の説明を受け、どこに法的な問題が存在するかを理解する。そして、民法の条文に定められたルールをどのように適用するかを中心に検討していく。毎回、講義の最後にコメントページを提出する。

《教科書》

松久三四彦ほか『オリエンテーション民法 第3版』（有斐閣・2024年）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

毎回、講義の最後にコメントページを提出する。教員がコメントを（自己採点やグループでのコメント含む）を付して返却する。

《授業の到達目標》

あらゆるビジネス（仕事）の基本である「契約」や「不法行為」などを扱う「債権法」分野において、債権法の基本概念や判例について理解することができる。具体的な事例について、債権法のルールを適用して判断することができる。さらに、多重債務や消費者問題などに関心を持ち、自分の意見を表すことができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に到達したかを期末試験（55%）および確認テスト（45%）によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %  
 課題 45% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション・債権法とは	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
2	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
3	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
4	不法行為	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
5	契約総論	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
6	契約違反（債務不履行）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
7	契約違反（債務不履行）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
8	売買契約	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
9	賃貸借契約	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
10	消費貸借契約・請負契約	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
11	債権の消滅（弁済・相殺）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
12	債権譲渡	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
13	責任財産の保全	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
14	連帯債務・保証債務	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間）。 復習：理解の不十分な点を確認し、今後の学習計画を立てる（1時間）。

《専門科目》

科目名	行政法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DB3 3・専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

行政法は では、行政法の基本原則、行政の活動に主眼を置き、様々な行政の活動とその行政活動の際のルールを学んでいく。特に行政の活動は権力的なものが多く、私たちの権利・利益と衝突することもあるので、その点に着目して行政活動について学んでいく。

《教科書》

ピンポイント 行政法 （三省堂）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト等ののちに、全体に対して解説を行う。

《授業の到達目標》

- ①法律による行政の原理について理解すること。
- ②行政立法の種類と特徴について理解すること。
- ③権力的行政活動のうち行政行為の種類と特徴について理解すること
- ④行政行為の効力等について理解すること
- ⑤行政強制の種類と特徴・役割について理解すること。

《成績評価基準》

小テストとまとめのテストを基に総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %  
 課題 40% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に案内する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	行政法とは何か？ 行政法の全体構造	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
2	行政法の基本原則	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
3	行政立法①	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
4	行政立法②	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
5	行政活動にはどのようなものがあるか？	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
6	行政行為の種類と特徴	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
7	行政行為の特殊な効力	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
8	瑕疵ある行政行為	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
9	無効・取消し・撤回 行政行為の付款	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
10	総復習	今までの全範囲を復習し、課題に取り組みできるようにしておくこと（2時間）
11	行政行為の実効性の確保 手段①	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
12	行政行為の実効性の確保 手段②	テキストの該当箇所を読んでおくこと。 授業終了後、ノート整理等を行い内容を理解すること（2時間）
13	判例を読む	判例の論点に沿って該当箇所を復習すること。（2時間）
14	判例を読む、総復習	判例の論点に沿って該当箇所を復習すること。試験勉強（2時間以上）
15	総復習とまとめのテスト	試験勉強をしておくこと（2時間）

《専門科目》

科目名	労働法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DB3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

労働法は、社会的弱者といわれる労働者を守る法律といわれている。私たちの多くは労働者として長期間働くことになることを考えた場合、様々なトラブルが降りかかってくる恐れもある。どう対処したらよいのか、労働法は同規定しているのかを知っていることは私たちが働いていく上で非常に大切なことである。ここでは、労働法全般にわたって講義をしていく。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト、中間テスト等に関しては、全体に対し解説を行う。

《授業の到達目標》

各テーマの重要語句について説明できるようになる。  
現実に起こりうる問題に対し、どのように対処したらよいか考えることができるようになる。

《成績評価基準》

小テスト、中間テスト、試験等をもとに総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験60%  
小テスト、課題等40%

《参考図書》

授業中に適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	労働法の全体構造	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
2	労働契約	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
3	賃金	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
4	労働時間	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
5	休日・休憩、年次有給休暇	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
6	労働契約の終了	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
7	今までの復習および小テスト	今までの講義の復習を行う(2時間)
8	就業規則	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
9	懲戒処分	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
10	労働組合はなぜ必要?	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
11	労働組合・団体交渉	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
12	争議行為・組合活動	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
13	具体的事例を検討	判例をよく読み、論点について判詞を理解すること。(2時間)
14	不当労働行為	復習およびノート・プリント整理、必要に応じて各自扱ったテーマについてまとめておく(2時間)
15	全体の復習およびまとめのテスト	全体の復習および試験勉強を行う(2時間以上)

《専門科目》

科目名	マクロ経済学				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

この講義では、図表を用いながら、マクロ経済学の基礎的な概念を分かりやすく説明する。また講義の際に必要な「最低限用いる数学的知識」に関しては、講義内において詳しく説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《授業の到達目標》

マクロ経済学の基本的な考え方を紹介する。マクロ経済学では、身近な新聞やニュースでも聞いたことあるような「物価、失業率、円高や円安」といった経済問題が多く登場する。また、この分野では経済が悪くなったときに対し、政府や日本銀行が行う経済政策についても学んでいく。受講生の皆さんが、経済問題について経済学の理論を通じて、理解することができるように解説していく。

《成績評価基準》

到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験（第9回講義） 30%  
 筆記試験（第15回講義） 40%  
 授業の取組 30%

《参考図書》

茂木喜久雄(2021)『絵でわかるマクロ経済学』株式会社 講談社  
 ・中谷巖 他(2021)『入門マクロ経済学 第6版』日本評論社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マクロ経済学とは何か	予習：マクロ経済学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	GDPとケインズ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	経済波及効果とは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	マクロ経済用語：フローとストック、名目と実質	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	マクロ経済用語：インフレとデフレ、円高と円安	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	数式で捉える一国の経済	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	政府支出・減税による経済効果	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	消費需要と投資需要	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	中間試験	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	マクロ経済用語：利子率、割引現在価値	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	マクロ経済用語：貨幣需要、お金の機能、債券	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	日本銀行と金融政策	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	日本政府と財政政策	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	国際収支	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	ファイナンシャルプランナー B				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 1-DP5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。前後期1年間を通して、ライフプラン・保険・資産運用・不動産・税金・相続の6分野について基礎知識を学ぶ。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある  
 指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。人生をよりよく暮らすための知識付けを目的とし、国家資格 FP 技能士を取得する際にスムーズに勉強を始めるための素地作りを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%  
 課題 20%  
 授業の取組 40%  
 その他 ( ) %

《教科書》

うかる! FP3級 速攻テキスト 2025 2026年版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度を主とした課題実施等の取り組み等の「姿勢」、ミニテスト等「課題」、「筆記試験」を評価項目とする

《参考図書》

うかる!FP3級速攻問題集2025 2026年版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ファイナンシャルプランナーA 振り返り	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
2	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
3	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
4	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
5	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
6	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
7	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
8	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
9	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
10	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
11	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
12	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
13	ミニテスト	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
14	ファイナンシャルプランナーB 振り返り	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
15	まとめ(期末試験)	(復習2時間) 指定教科書の該当箇所を再度熟読し、期末試験に向けて苦手部分を復習すること。

《専門科目》

科目名	簿記				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-Op6 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

この授業では、小規模の株式会社の簿記を学ぶ（日商簿記検定3級レベル）。  
毎回必ず電卓を持参すること。

《教科書》

鶴見正史編著『複式簿記概説』五紘舎。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

小規模の株式会社の簿記の技術の習得を目標とする。  
企業活動において、重要な仕訳ができるようになる。  
貸借対照表や損益計算書が作成できるようになる。  
企業の決算公告を読むことができる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72%）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組 %  
その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	簿記の基礎	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	現金と預金の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	商品勘定の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	貸倒れと貸倒引当金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	その他の債権債務	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	手形の取引	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	有形固定資産の処理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	税金の処理・個人企業の資本	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	決算整理	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	試算表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	精算表の作成(1)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	精算表の作成(2)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	財務諸表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	訂正仕訳	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	福岡学				
担当者氏名	武濤 研二郎				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP4 社会人として必要な「広く豊かな教養」、「土台としての基礎学力」、「コミュニケーション能力」を身につけている。				

《授業の概要》

福岡県の地理・歴史・文化・経済について、福岡県の産業施策に携わってきた教員による講義を通じ基礎的な知識を得る。

観光客誘致や多文化共生推進をテーマとするグループワークを通じて、さらに深く福岡県について学ぶ。

留学生と日本人学生が協力しあいながら学ぶ「多文化間共修」であるため、留学生・日本人学生双方の積極的な授業参加を期待する。

《授業の到達目標》

将来の仕事や生活に役立てるため、次の知識や能力を身につける。

- 福岡県に関する基礎知識
- 異文化コミュニケーション能力

《成績評価の方法》

- ・制作物（発表資料） 40%
- ・グループワークにおける貢献度（積極的な準備・発言）30%
- ・レポート（コメントシート） 30%

《教科書》

使用しない。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

グループワークによる制作物（発表資料）や、個人による制作物（レポート等）に対して、教員が授業中または授業外（メール等）で論評を行う。

《成績評価基準》

地理・歴史・文化・経済の観点から福岡県が国内外の都市と比べてどのような位置にあるか、どのような魅力があるかを自らの考えで具体的に述べるができる。

異文化コミュニケーションの難しさを理解し、コミュニケーションの方法を工夫できるようになる。

《参考図書》

- ・わたしたちの福岡県（福岡県庁のウェブサイト）
- ・その他、授業期間中に指定する資料を参照すること。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション チームづくり	予習：福岡県の位置、大きさ、形、人口等をネット等で調べる / 30分 復習：関心を持ったことを書きだす / 1時間
2	福岡県はどんなところか	予習：福岡県の地理・歴史・文化・経済に関する情報をネット等で調べる / 1時間 復習：関心を持ったことを書きだす / 1時間
3	調査 / 発表の方法について	予習：質的調査や量的調査の代表的な手法をネット等で調べる / 1時間 復習：関心を持った調査手法についてさらにくわしく調べる / 1時間
4	グループワーク 計画づくり	予習：福岡県を訪ねてくる観光客の状況についてネット等で調べる / 1時間 復習：自分が担当することになった地域についてネット等で調べる / 1時間
5	グループワーク 調査	予習：福岡県の観光資源や観光ルートに関する情報をネット等で調べる / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
6	グループワーク 発表資料作成	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
7	グループワーク 発表・講評	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
8	福岡県はどんなところか	予習：福岡県内の在留外国人の状況に関する情報をネット等で調べる / 1時間 復習：関心を持ったことや気づいた（解決したい）課題を書きだす / 1時間
9	グループワーク 計画	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
10	グループワーク 調査（学外施設を見学）	予習：調査先に応じて教員が指示する / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
11	グループワーク 調査	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
12	グループワーク 発表資料作成	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
13	グループワーク 発表資料作成	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：必要に応じてグループワーク / 2時間
14	グループワーク 発表・講評	予習：必要に応じてグループワーク / 1時間 復習：他のグループの発表内容について自分の考え（意見）をまとめる / 1時間
15	「多文化共創社会」としての福岡県の未来	予習：自分たちのグループの発表内容のふりかえり / 1時間 復習：未来の福岡県で、自分のキャリアをどう作っていくかを考える / 1時間

《専門科目》

科目名	貿易概論				
担当者氏名	久保 宏和、岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

貿易取引の流れについて専門用語に関する説明を行なった後、陸航空における輸送のしくみ等に関する知識について説明を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《授業の到達目標》

本講義では、貿易とはどのような取引なのか、取引実務の手順はどのように行われるのか、専門用語を用いて入門的な講義を行なう。

《成績評価基準》

不定期的に課題を課し、採点をして返却する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50%  
課題 20%  
授業の取組 30%

《参考図書》

黒岩章（2021）『はじめての人の貿易入門塾』株式会社かんき出版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	貿易とは何か	予習：貿易の役割とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	貿易取引のカタチと流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	貿易における売買契約までの流れ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	税関について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	航空輸送について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	海上輸送について(1)：港の仕組み	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	海上輸送について(2)：博多港について	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	中間試験	予習：第8回講義までの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）
9	博多港見学(1)	予習：視察先施設の概要を確認 / 2時間 復習：現地説明のメモ・資料の内容確認 / 2時間
10	博多港見学(2)	予習：視察先施設の概要を確認 / 2時間 復習：現地説明のメモ・資料の内容確認 / 2時間
11	博多港見学の振り返り	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	貿易における契約と権利・義務	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	危険負担と費用負担（1）	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	危険負担と費用負担（2）	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまで学んだことを確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）

《専門科目》

科目名	金融資産運用				
担当者氏名	守田 弘美				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-OP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

20年以上金融や資産運用についてセミナーやコンサルティングを実施してきた経験から、生活していく上で本当に必要な金融知識を身に付けるための実践的授業を行います。各金融商品の商品性を資料教材やネットを使用して学習するほか、アセットアロケーション（資産配分）の考え方や、確定拠出年金、NISA などの制度についても学習し、金融リテラシー（知識・判断力）の向上を目指します。

《授業の到達目標》

各種金融商品の基本的な商品性を理解し、説明できる。  
 金利の計算等、各種金融に関する計算ができる。  
 金融経済情勢やライフプランに合わせて金融商品の選択ができる。  
 NISA、確定拠出年金の概要を理解し説明できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート 0%  
 課題 20% 実技 0%  
 授業の取組 30%  
 その他 ( ) 0%

《教科書》

使用しない。プリントを配布する。毎回電卓を持参すること。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は解答をチェックして返却。  
 解答解説は授業中に実施する。

《成績評価基準》

・到達目標に挙げた各項目の習得度を最終日の試験と宿題で評価する。(テスト50%、宿題20%)  
 ・授業ではインターネットを使用して課題を調べたり、各種計算等のワークを実施するので、取り組む姿勢や発表の積極性等を評価の基準とする。(授業の取組30%)

《参考図書》

適宜紹介する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	金融とは何か？ 資産運用の基本的な考え方	予習：なし 復習：配布資料を熟読すること。(2時間)
2	預貯金と金利の計算 単利と複利	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：金利の計算がスムーズにできるように復習すること。(3時間)
3	預貯金と金利の計算 金利と景気の関係	予習：配布資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習と指定する計算課題をすること。(宿題)(3時間)
4	為替リスクと外貨建て商品 為替とは	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：外国為替取引の基本的仕組みと計算の復習をすること。(3時間)
5	為替リスクと外貨建て商品 外貨建ての計算	予習：配布資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習と為替に関する計算の課題をすること。(宿題)(3時間)
6	債券 基本的仕組みと債券の種類	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し、指定する課題について調べること。(3時間)
7	債券 債券の利回り計算	予習：配布資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：債券の利回り計算がスムーズにできるように復習すること。(3時間)
8	株式 基本的仕組み	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し指定課題について調べること。(宿題)(3時間)
9	株式 投資指標の計算と投資ゲーム銘柄選定	予習：配布資料を読む。銘柄選定(2時間) 復習：株式の投資指標の計算について復習すること。株価チェック。(3時間)
10	投資信託基本的仕組み	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とネットを活用し指定課題について調べること。(宿題)(3時間)
11	NISAと確定拠出年金 NISAの概要と活用法	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とインターネットで専用サイトを見て理解を深める。(3時間)
12	NISAと確定拠出年金 確定拠出年金の概要	予習：資料の該当箇所を読む(1時間) 復習：授業の復習とインターネットで専用サイトを見て理解を深める。(3時間)
13	アセットアロケーションとポートフォリオ	予習：これまで学習した金融商品の特徴を復習しておくこと(2時間) 復習：授業内容を復習すること。(2時間)
14	金利や投資指標等に関する計算の復習	予習：各種計算の練習(2時間) 復習：授業内容および各種計算を復習すること(3時間)
15	総括および試験	予習：試験に向けての勉強(4時間) 復習：試験の解答をチェックし、苦手なポイントを復習すること。

《専門科目》

科目名	マーケティング論				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

マーケティングに関する基礎的な専門知識について学習するとともに、実践的で有用なマーケティング的発想を習得することを目的とする。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

到達目標に達したかを期末試験（50%）、授業への取組（30%）および、課題提出状況（20%）によって測定する。

《授業の到達目標》

マーケティングの基礎理論と専門知識について理解した上で、実践的に用いることができる情報収集力と発想力を身につけることを到達目標とする。

《成績評価基準》

第3週目、第5週目、第7週目にグループディスカッションを実施し、その積極的参加とディスカッションの貢献度に応じて成績評価を行う。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%  
 グループディスカッション 30%  
 授業の取組 30%

《参考図書》

宮崎哲也（2016）『はじめての「マーケティング」1年生』明日香出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	マーケティングとは何か	予習：経営学とは何かを自分でも調べておくこと（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
2	ベネフィットとは何か	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
3	4Pと4C：マーケティングミックス	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
4	グループディスカッション(1)：4Pと4C	予習：第3週目の講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
5	環境分析：企業を取り巻く外的環境を理解する	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
6	商品の宣伝：プロモーション活動の実用例	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
7	グループディスカッション(2)：宣伝方法を考える	予習：第6週目の講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
8	商品の低価格追求によるマーケティングの失敗	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
9	コモディティ化：価値のない商品の特徴とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
10	イノベーションのジレンマ	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
11	ソーシャルメディアによるプロモーション戦略	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
12	PPM分析：将来性のある商品・サービスとは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
13	行動経済学入門：合理的でない顧客の行動とは	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
14	CSRマーケティング：ビジネスで社会を変える	予習：事前に講義資料を読み、基本事項を確認する（2時間） 復習：講義内容の見直し（2時間）
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間） 復習：講義内容の全体を振り返る（2時間）

《専門科目》

科目名	FP3級試験対策講座				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<small>1-0P3 3. 専門的知識・技術・技能</small> ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 <small>1-0P5 5. 実践的応用力</small> 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。

国家資格FP技能士3級の合格を目指す。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある  
指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。

年3回実施の国家資格FP技能士3級合格、その後の2級へのステップアップの素地作りを目標とする。

《成績評価の方法》

授業の取組 50%

筆記試験 50%

その他( ) %

指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《教科書》

うかる! FP3級 速攻テキスト 2025 2026年版

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度等の取り組み姿勢を評価項目とする

指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること

《参考図書》

うかる!FP3級速攻問題集2025 2026年版

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
2	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
3	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
4	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
5	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
6	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
7	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
8	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
9	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
10	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
11	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
12	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
13	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
14	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
15	まとめ(期末試験)	(復習各2時間) 指定教科書の該当箇所を再度熟読し、期末試験に向けて苦手部分を復習すること。

《基礎科目》

科目名	英語				
担当者氏名	西村 紀子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

基礎文法の復習を行い、使える英語の知識を確立する。  
Audio教材を使ったフレーズ練習により、日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。  
毎回語彙テストを行い、語彙・熟語を増やすことを心掛け、TOEICや英検などの資格試験の取得も視野に入れて取り組む。

《教科書》

プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

期末試験のフィードバックは最終日に行います。

《授業の到達目標》

英語 で学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。  
基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。

《成績評価基準》

基礎文法の応用力が身についているか。  
身の回りの事柄について、自分の言葉で発信し説明できるか。  
応用に必要な基本的語彙が身についているか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート - %  
課題 - % 実技 - %  
授業の取組 35%  
その他(提出物) 35%

《参考図書》

「英会話の基本文型 8 7」

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	講座概要と英語基本文型について	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
2	to不定詞(名詞、形容詞、副詞的用法)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
3	比較(原級、比較級、最上級)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
4	受動態	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
5	受動態演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
6	現在完了形(完了、経験、継続)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
7	現在完了形(完了、経験、継続)演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
8	現在分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
9	過去分詞	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
10	現在分詞・過去分詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
11	関係代名詞(主格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
12	関係代名詞(目的格)	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
13	関係代名詞演習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
14	後期学習内容の総復習	予習：課題語彙(30分) 復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)
15	後期学習内容の理解確認	復習：学習した項目の整理・応用問題(30分)

《専門科目》

科目名	日本語A演習				
担当者氏名	井上 理恵子				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

留学生のための日本語授業です。日本の生活に必要な日本語能力を上げるためにも、日本語能力試験に合格するためにも、文法を学ぶことは大事です。授業の中で、文法の理解を深めながら、語彙力・読解力・会話力も身につけ総合的な日本語力を高めていきます。授業のあとは必ず復習をしてください。毎回必ず課題を解いて全授業に出席してください。

《授業の到達目標》

- ・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、やさしい評論など、論旨がわかりやすい文章を読んで文章の内容を理解することができる。
- ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや言いたいことを理解することができる。

《成績評価の方法》

- 筆記試験 50%
- 小テスト・課題 30%
- 授業の取組 20%

《教科書》

『TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語』（アスク出版（レベルによってN2またはN3）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

- ・理解度確かめるために、小テストを実施し添削して返却する。
- ・毎回、課題を提出し、次回返却、フィードバックを行う。

《成績評価基準》

- ・授業に真面目に出席していたか。
  - ・新しく学んだ文法や語彙を理解し、積極的に使おうとしていたか。
  - ・課題にきちんと取り組み提出していたか。
  - ・能力試験で正しい答えが導き出せるようになったか。
- 授業態度と課題提出と筆記試験で総合的に評価する。

《参考図書》

日本語能力試験関連問題集を適宜紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	授業の進め方と予定説明 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認 (30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
2	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
3	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
4	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
5	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
6	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
7	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
8	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
9	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
10	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
11	模擬試験	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
12	模擬試験の解説 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
13	小テスト 文法導入・練習・会話	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
14	総復習 作文・会話 発表	予習：テキストの内容を確認/過去に学んだ文法の復習をしておく。(30分) 復習：授業内で学習した語彙・文法・課題作文 (40分)
15	実力確認とまとめ	復習：授業内で学習した語彙・文法 総復習(60分)

《専門科目》

科目名	日本語B演習				
担当者氏名	入江 千治				
授業方法	演習	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では、前期に続いて、「聞く練習」しながら、N2レベルの文法を勉強します。「聞く練習」では、敬語を使った仕事の場面や、複雑なコミュニケーションの場面の話を聞く練習をします。そして、N2レベルの文法を身につけて、日本語能力のレベルアップを目指します。

《教科書》

TRY!日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 改訂版 (アスク出版)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

- ・文法、語彙の練習(翌週解説の時間を設ける)
- ・小テスト(翌週解説の時間を設ける)

《授業の到達目標》

- ・さまざまな場面での話、会話を日本語で聞いて理解できる。
- ・将来仕事をするときに必要な敬語、文法表現を身につける。

《成績評価基準》

- ・まじめに授業/課題に取り組んだか。
- ・さまざまな場面での話、会話を聞いて、理解できるようになったか。
- ・敬語、文法能力は向上できたか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験40%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み30%

《参考図書》

・『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』(アスク出版) / 『日本語能力試験対応短期マスター聴解ドリル1 N2・N3ドリル』(凡人社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	聞く練習/文法	予習: テキストの内容/過去に学んだ文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
2	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
3	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
4	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
5	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
6	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
7	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
8	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
9	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
10	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
11	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
12	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
13	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
14	聞く練習/文法	予習: 次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認(30分) 復習: 授業で学んだ文法・敬語表現・語彙の確認(30分)
15	総まとめ	予習: 総復習(60分)

《専門科目》

科目名	日本語C演習				
担当者氏名	月原 万貴、高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では日本語でのコミュニケーション能力の向上を目指します。これまでに学んだ日本語を適切に使えるように「聞く」「話す」「書く」ための総合的な練習を行います。また、日本で生活し仕事をするために必要な語彙や文法・敬語を習得します。日本語能力対策授業も行います。

《教科書》

『JLPT 文法 N3 ポイント&プラクティス』（スリーエーネットワーク）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題・小テストについては、翌週解説、フィードバックの時間を設ける。

《授業の到達目標》

- ・さまざまな場面の日本語を聞きとり、内容を理解できる。
- ・適切な語彙・文法を使いコミュニケーションがとれる。
- ・状況に応じた敬語表現が使える。

《成績評価基準》

- ・授業や課題にまじめに取り組んだか。
- ・適切な語彙・文法を使ってコミュニケーションがとれるか。
- ・状況に応じた敬語表現が使えるか。

《成績評価の方法》

- ・期末試験40%
- ・小テスト・課題30%
- ・授業への取り組み30%

《参考図書》

- ・『初級が終わったら始めよう 新にほんご敬語トレーニング』（アスク出版）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	文法 2 0 16~20まとめ 敬語：申し出る 1	予習：テキストの内容 / 過去に学んだ文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
2	文法 2 1, 2 2 敬語：申し出る 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
3	文法 2 3, 2 4 敬語：おわびする 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
4	文法 2 5 21~25まとめ 敬語：おわびする 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
5	文法 2 6, 2 7 敬語：意見を言う 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
6	文法 2 8, 2 9 敬語：意見を言う 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
7	文法 3 0 2 6~3 0まとめ、敬語：面接 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
8	文法 模擬試験 敬語：面接 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
9	文法 模擬試験FB 敬語：電話の敬語 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
10	文法 復習 敬語：電話の敬語 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
11	JLPT模擬試験	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
12	JLPT模擬試験 FB	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
13	敬語：スピーチをする 1	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
14	敬語：スピーチをする 2	予習：次回授業に必要なテキストの語彙・文法の確認 (30分) 復習：授業で学んだ語彙・文法の確認 (30分)
15	アチーブメントテスト、まとめ	復習：総復習 (60分)

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

- ・現代社会の課題を毎回一つづつ提起して 時事用語の理解 課題への解決方法を考えていく
- ・最後の基礎問題を解いて 理解の確認をする。

《教科書》

ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内で基礎問題や課題を解決する。  
解決できない場合は 次週提出する。

《授業の到達目標》

- ・時事用語を理解する。
- ・時事力を使って 課題を公正に理解・考察することができる。

《成績評価基準》

- ・時事用語を理解し 課題問題に対して自分の意見を言える。さらに文字として表現できる。

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート 60%  
その他 ( ) %

《参考図書》

適宜紹介する・ニュース検定

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)	
1	日本の政治のしくみ	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
2	日本国憲法の基礎	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
3	日本の領土と日米安全保障条約と沖縄	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
4	地方自治の仕組みと課題	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
5	日本の財政のしくみ 値段がきまり方	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
6	日本の産業の特徴 円安と円高 半導体	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
7	進む少子高齢化	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
8	日本の社会保険 年金・介護	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
9	日本の働き方 ハラスメント	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
10	共生社会の基礎 男女平等の課題	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
11	情報社会の基礎 メディア ITC	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
12	災害と日本 地震が多い理由と対策	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
13	世界平和と国際連合	予習の必要はなし	授業で扱った時事用語や課題解決を復習する
14	総復習	復習問題の自宅学習をする	
15	期末試験とFB	間違った問題を復習する	

《専門科目》

科目名	ビジネスライティング				
担当者氏名	志田 華奈子、高藤 純子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

自らの意見や立場を言葉で明確に表明することは社会人として必要なスキルである。日本語は書き言葉や話し言葉、場面などで、さまざまな使い分けが必要な言語である一方、新しい表現を生み出しやすい言葉でもある。この授業では、さまざまな資料から多くの日本語表現に触れつつ、自らも文章を書き、他者への伝わり方を議論することで、コミュニケーションの道具としてのことばを活用できるスキルを磨く。

《授業の到達目標》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができる。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができる。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、普段から身の回りにおけることばの表現に関心を持ち、調べ、それらを使用できようになる。

《成績評価の方法》

- 筆記試験 40%
- 課題 30%
- 授業の取組 30%

《教科書》

適宜プリントを配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

- ・社会に出るにあたって必要な文章力や表現力を磨き、場面に応じた日本語表現を使用することができたか。
- ・自らの意見や表現したいことを、他者がわかりやすいように言葉に表すことができたか。
- ・語彙力や表現力を伸ばすために、身の回りのことばの表現に関心を持ち調べ、それらを使用できようになったか。

《参考図書》

- 『大学生のための日本語表現トレーニング』橋本修（三省堂）
- 『形容詞を使わない大人の文章表現力』石黒圭（日本実業出版社）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション	復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
2	話し言葉と書き言葉	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
3	描写 (5W1H)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
4	描写 (起承転結)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
5	描写 (形容詞問題)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
6	伝える (事実と意見)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
7	伝える (話す順番)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
8	伝える (データで伝える)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
9	PREP法 (段落構成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
10	PREP法 (理由と具体例)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
11	PREP法 (マッピングと意見文)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
12	ビジネスメール	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
13	自己PR文 (自己分析)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
14	自己PR文 (文作成)	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)
15	期末試験 まとめ	予習：提示された課題について調べておく。(30分) 復習：配布資料を熟読し、自らの文章を推敲する。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的IT基礎演習とプログラミング				
担当者氏名	柿山 達哉、森田 典子、井上 直子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	1年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-06 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

IT基礎 -2(前期復習、Google Workspaceの活用)  
 EXCELマクロプログラミング基礎(入門)  
 ドローンプログラミング体験  
 課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)  
 メタバース体験  
 テーマは進度に応じて変更することもある。  
 受講資格は演習を終了したか、同等の力がある者。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身につけることが目標。  
 時代の変化についていけるように、ITを使って調べ考える力を身につける。  
 ITの最新の流行を知る。

《成績評価の方法》

課題 60%  
 授業の取組 40%  
 上記評価に出席率を加味して総合評価点をつける。

《教科書》

必要な教材は講義時に配布するか、事前にメールで送る。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に提出する講義レポートの内容と、講義で与えた課題を提出してもらい評価をする。出席率も大きな評価ポイントになる。

《成績評価基準》

- ・講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・課題を理解して自分の力として身につけることができたか。
- ・講義を楽しむことができたか。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	IT基礎 -2	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	IT基礎 -2	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	IT基礎 -2	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	IT基礎 -2	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	IT基礎 -2	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	ドローンプログラミング体験	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	メタバース体験	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	振り返り	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

---

2 年 前 期

---

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	クリスル サウ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

To improve English skills students will be using fun & lively exercises & fluency-building activities. Students will learn phrases that are often found in English conversations & develop vocabulary. Students should learn to have a simple conversation with a foreigner. They should learn to speak about themselves, their hobbies, talents, dreams, plans for their future.

《授業の到達目標》

Students develop confidence and fluency as they try to improve their English skills. Students will learn to ask questions to be able to interact with others about various subjects. Students will learn to answer in complete sentences, and carry on a conversation with others.

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %  
 課題 10% 実技 40%  
 授業の取組 100%  
 その他 (Homework) 10%

《教科書》

Classbook: "Take it Easy" by Herman Bar-telen

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

I correct spelling, grammar & if writing is original (witty) I reward the test / report / or any other writings with an extra point.

《成績評価基準》

-Tests, check their written homework & papers they write in class.  
 -I let them work in pairs (2-3 people) & 'perform', I will ask them questions in class.

《参考図書》

occasionally extra work or grammarsheets (dependant on the students needs)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Unit 1-1	[Class introduction, Meeting & Greeting People] Short introduction Family, Plans, Hobbies (pg.7)(1 h)
2	Unit 1-2	[Present Tense Questions & Answers] Write 3 sentences in Present Tense (pg.10) (1 h)
3	Unit 2-3	[Past Tense Questions & Answers, Showing interest] Write 3 sentences in Past Tense (pg.13) (1 h)
4	Unit 2-2	[Talking about the Past] Fill out the questions on pg.16 (1 h)
5	Unit 3-1	[Expressing Frequency, Talking about News] Use the words always, often, never in a sentence (pg.19) (1 h)
6	Unit 3-2	[Using "How ... ?" Questions] Write 3 sentences using 'How' (pg.22) (1 h)
7	Unit 4-1	[Making Plans, Saying no to Invitations] Invite a friend to a party, pls write an invitation (pg.29)(1 h)
8	Unit 4-2	[Talking about Activities] Talk about an activity you enjoy (pg.32) (1 h)
9	Unit 5-1	[Expressing Likes and Dislikes] Write about 2 dishes you like to cook (pg.35) (1 h)
10	Unit 5-2	[Ordering in a Restaurant] Fill out the questions on pg. 38 (1 h)
11	Unit 6-1	[Future Tense Questions & Answers, Agreeing & Disagreeing] Talk about a plan for the future (pg.41) (1 h)
12	Unit 6-2	[Expressing Certainty & Uncertainty] Study the word Bank on pg. 44 (1 h)
13	Unit7/Review for the Test	[Talking about Location/Review for the Test] Explain the route from your home to school (1 h)
14	Written/Verbal Test	Review for your test (1 h)
15	Return test results, answer questions	[Return test results, answer questions, learn a song] write down questions you have (1 h)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

この授業では、学校行事やグループワークを通して、社会人基礎力を身につける。また、外部講師による講義や進路に関する説明を聞き、自分の進路を決定する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、課題によっては教員のコメントを付して返却する。返却された課題は、適宜復習可能なように「学修ポートフォリオ」に保存すること。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題によって測定する(80%)。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 80% 実技 %  
授業の取組 20%  
その他 ( ) %

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・履修登録確認・1年生へアドバイス	予習：講義概要を読む(30分)。 復習：時間割の確認(30分)。
2	ポートフォリオ作成	予習：進路についてこれまでの経過を振り返る(30分)。 復習：ポートフォリオの修正(30分)。
3	就職セミナー	予習：進路についてこれまでの経過を振り返る(30分)。 復習：セミナーの内容を振り返り課題を仕上げる(30分)。
4	キャリア形成サポート	予習：進路について必要なテキストなどを準備する(30分)。 復習：自分に必要な学習を継続する(30分)。
5	手紙作成	予習：お世話になった人への手紙の文面を考える(30分)。 復習：手紙を清書する(30分)。
6	学内企業説明会	予習：参加企業について調べる(30分)。 復習：説明会の内容を振り返る(30分)。
7	学内企業説明会	予習：参加企業について調べる(30分)。 復習：説明会の内容を振り返る(30分)。
8	ポートフォリオ作成	予習：進路についてこれまでの経過を振り返る(30分)。 復習：ポートフォリオの修正(30分)。
9	ポートフォリオ作成	予習：進路についてこれまでの経過を振り返る(30分)。 復習：ポートフォリオの修正(30分)。
10	キャリア形成サポート	予習：進路について必要なテキストなどを準備する(30分)。 復習：自分に必要な学習を継続する(30分)。
11	キャリア形成サポート	予習：進路について必要なテキストなどを準備する(30分)。 復習：自分に必要な学習を継続する(30分)。
12	キャリア形成サポート	予習：進路について必要なテキストなどを準備する(30分)。 復習：自分に必要な学習を継続する(30分)。
13	福浜祭打ち合わせ	予習：福浜祭でやりたいことを各自で考える(30分)。 復習：打ち合わせの内容を振り返り、次回までに修正案を考える(30分)。
14	福浜祭打ち合わせ	予習：福浜祭でやりたいことを各自で考える(30分)。 復習：打ち合わせの内容を振り返り、次回までに修正案を考える(30分)。
15	夏期休暇前指導	予習：前期の活動を振り返る。夏期休暇の計画を立てる(30分)。 復習：キャリア演習 授業全体を振り返る(30分)。

《基礎科目》

科目名	公務員教養 B-2 (数的推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-06 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説の後、問題演習を行う。  
 期間後半は総合演習により、知識を定着させ、実践力を身につける。

《教科書》

公務員合格ゼミ 数的処理 (いいずな書店)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題は講義内で解説します。

《授業の到達目標》

数的推理過去出題問題、またはそれに相当する問題を7割程度正解できるようになる。

《成績評価基準》

課題に対して正しい解法を用いることができる。  
 制限時間内に、確実に正解を導くことができる。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
 課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	場合の数・数え上げ	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	順列	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	組み合わせ	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	確率	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	三角形・多角形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	円と扇形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	立体図形	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	総合演習	復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
9	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
10	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
11	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
12	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
13	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
14	総合演習	予習：前回できていなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
15	まとめ	予習：今までの総復習(2時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養 C-2 (判断推理)				
担当者氏名	岩崎 靖				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP5 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

各分野の基本事項の解説の後、問題演習を行う。期間後半には総合演習を行う。

《教科書》

公務員合格ゼミ 判断推理 (いいずな書店)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題については、講義中に解説する。

《授業の到達目標》

論理的思考を養成し、公務員試験の判断推理、空間把握の問題に対し、8割の正解を求められるようになる。

《成績評価基準》

正しい手法で問題を解決できるか。  
決められた時間の中で問題を解決できるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 70%  
課題 30%

《参考図書》

学生の志望に応じて紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス・図形の切断と構成	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
2	折り紙と模様	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
3	軌跡	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
4	図形のつながり	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
5	立体の組み立て	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
6	展開図	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
7	投影図	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
8	立体の開店と切断	予習：教科書を読み、基本事項を確認する(30分) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
9	図形のまとめ	予習：1～8講の復習(1時間) 復習：講義内容の見直し、課題演習(1時間)
10	総合演習	復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
11	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
12	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
13	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
14	総合演習	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)
15	まとめ	予習：前回できなかった分野の復習(1時間) 復習：講義で解いた問題のやり直し(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養D(政治・経済)				
担当者氏名	大谷 美咲、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-Op6 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力をつけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

本授業は、公務員試験に共通して課せられる教養試験のうち、政治を中心とする社会科学系科目について学びます。授業では、過去に出題された初級レベルの試験科目を実際に読んでもらい、それを産婚にしながら出題範囲の把握と重要テーマに関連する基礎的な内容を学びます

《教科書》

『公務員試験〔高卒程度・社会人〕初級スーパー過去問ゼミ 社会科学』実務教育出版、2021年。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題に対しては、授業時間中に開設の時間を設けます。

《授業の到達目標》

この授業の到達目標は、公務員試験初級レベルで要求される、政治・社会・経済に関する基礎的な知識を習得し、応用問題にも対応できるようになることです。

《成績評価基準》

公務員試験の教養試験に要求される政治・社会・経済に関する基礎的な知識を習得し、応用できているかという点から評価します。

《成績評価の方法》

成績は筆記試験(90%)と通常時の授業への取り組み(10%)から評価します。

《参考図書》

授業中に紹介します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	今年度の公務員試験の概要を調べておく(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
2	政治(1)近代国家と民主政治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
3	政治(2)明治憲法と日本国憲法	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
4	政治(3)基本的人権	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
5	政治(4)内閣	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
6	政治(5)国会	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
7	政治(6)選挙制度	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
8	政治(7)裁判所	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
9	政治(8)地方自治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
10	政治(9)国際政治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
11	政治(10)国際政治	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
12	社会・経済(1)労働問題	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
13	社会・経済(2)社会保障制度	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
14	社会・経済(3)社会問題	授業テーマに関連する新聞記事などを調査・熟読(1時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)
15	まとめ	これまでの授業で扱った問題を再確認する(2時間) 授業で扱った問題復習する(1時間)

《基礎科目》

科目名	公務員教養E (人文科学)				
担当者氏名	村上 悠				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

本授業では、公務員試験の教養試験のうち、近代以降の日本史・世界史を中心とする人文科学分野を学びます。授業では過去に出題された初級レベルの試験問題を実際に説いてもらい、それを参考にしながら出題傾向の把握と重要テーマに関する基礎的な内容を学びます。

《教科書》

小宮康編著『公務員合格ゼミ 社会』公務員ゼミナール、1993年。  
講義ではプリントを配布します。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題については授業中に解説の時間を設けます。

《授業の到達目標》

この授業の到達目標は公務員試験初級レベルで要求される人文科学に関する基礎的な知識を獲得し、応用できるようになることです。

《成績評価基準》

公務員試験初級レベルで要求される、近現代の日本史・世界史の基礎的な知識が獲得できているか、応用問題に対応できているかという点から評価します。

《成績評価の方法》

筆記試験(90%)及び、通常時の授業への取り組み(10%)から評価します。

《参考図書》

授業中に紹介します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	今年度の公務員試験の概要を調べる(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
2	日本史(1)近世	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
3	日本史(2)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
4	日本史(3)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
5	日本史(4)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
6	日本史(5)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
7	日本史(6)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
8	世界史(1)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
9	世界史(2)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
10	世界史(3)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
11	世界史(4)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
12	世界史(5)近現代	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
13	思想史(1)近代政治思想	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
14	思想史(2)近代政治思想	配布プリントの熟読(1時間) 授業で扱った問題を復習する(1時間)
15	まとめ	これまでの授業内容を再確認する(2時間) 授業で扱った問題を復習する(2時間)

《基礎科目》

科目名	インターンシップ				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	実習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

夏期休暇、春期休暇の期間に、企業や官公庁、団体等の様々な職場で一定期間の就業体験を行う。受け入れ企業とうから職場という貴重な経験の場の提供を受け実践的な学びを得る。  
 なお、インターンシップに参加するには1年生前期科目「インターンシップ実習指導」を履修していることが必須である。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

実習先企業の担当者からの課題、指導に従うこと。

《授業の到達目標》

インターンシップの趣旨を理解できる。  
 ルールとマナーを守って実習先での指導を忠実に受けることができる。  
 主体的に就業体験を遂行できる。  
 自身の今後の進路を主体的に設計できる。

《成績評価基準》

インターンシップ受け入れ先からの報告レポートに基づいて、到達目標に沿って総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 レポート %  
 課題 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

古閑博美『インターンシップキャリア形成に質する就業』  
 (学文社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
2	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
3	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
4	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
5	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
6	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
7	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
8	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
9	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
10	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
11	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
12	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
13	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
14	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間
15	5~10日程度受け入れ先企業等で就業体験	インターンシップ事前指導の復習とともに就職活動ハンドブックを通読しておくこと。実習先企業の担当者からの指示に従い、予・復習すること。2時間

《基礎科目》

科目名	キャリアサポート(アジアビジネス)II				
担当者氏名	高向 有理				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

キャリアサポート で学んだ内容を復習しつつ、履歴書・エントリーシートなどの書類を完成させます。留学生のための就職情報などもこの授業でお知らせし、面接の個人指導も授業内外で行っていきます。十分に準備が整えられるよう授業計画をよく読んで、課題に取り組んでください。

《教科書》

進路指導室から配布される就職活動ハンドブック

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

履歴書・エントリーシートは添削して返却しますので修正してください。面接は都度アドバイスをしますので、メモをとっておいてください。

《授業の到達目標》

- ・合同説明会や面談会に自発的に参加できるようになる。
- ・履歴書やエントリーシート、志望動機等を日本語で作成できる。
- ・自分の強みや志望動機を日本語で伝えることができる。
- ・求人票などの資料から必要な情報を検索することができる。
- ・日本の労働法を理解し、説明することができる。

《成績評価基準》

- ・合同説明会や面談会に参加したか。
- ・履歴書とエントリーシートが完成したか。
- ・面接で大体の質問に日本語で受け答えできるか。
- ・日本の労働法や在留資格変更手続きについて自分のことばで説明できるか。

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート 20%  
 課題 30% 実技 10%  
 授業の取組 40%  
 その他(プレゼンテーション) 30%

《参考図書》

適宜指示します。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	就職活動の概要の復習	予習: キャリアサポート 見直し 30分 復習: 配布プリント復習 30分
2	外国人留学生の就活問題点と対策	予習: 問題点準備 30分 復習: 気付き小レポート 30分
3	企業・業界研究と仕事選び	予習: 就活ハンドブック該当ページ 30分 復習: 興味がある仕事小レポート 30分
4	求人情報の探し方	予習: 求人情報検索 30分 復習: 気付き小レポート 30分
5	エントリーシート(ES)作成	予習: ES 準備 30分 復習: ES 提出 30分
6	エントリーシート添削・作成	予習: ES 準備 30分 復習: ES 提出 30分
7	面接練習 (準備)	予習: 面接シート準備 30分 復習: 気付き小レポート 30分
8	面接練習 (実践)	予習: 面接シート準備 30分 復習: 気付き小レポート 30分
9	面接練習 (外部講師による実践)	予習: 面接シート準備 30分 復習: 気付き小レポート 30分
10	グループディスカッション対策	予習: 就活ハンドブック該当ページ 30分 復習: 気付き小レポート 30分
11	筆記試験 SPI	予習: 就活ハンドブック該当ページ 30分 復習: SPI 問題提出
12	面接練習 (個人)	予習: 面接シート準備 30分 復習: 面接シート修正 30分
13	面接練習 (集団)	予習: 面接シート準備 30分 復習: 面接シート修正 30分
14	日本の労働法権利と義務	予習: 労働法について調べる 30分 復習: 気付き小レポート 30分
15	内定後の在留資格変更手続き	予習: 就活ハンドブック該当ページ 30分 復習: 授業まとめ 30分

《専門科目》

科目名	民法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-OP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

民法で学んだ基礎的知識を土台として、発展的な内容について学ぶ。事例を題材として、法的な問題がどこに存在するかを理解し、民法の条文に定められたルールをどのように適用するかを中心に検討していく。毎回、講義の最後にコメントへ記入が課されるので、次の講義時に提出する。

《教科書》

生田敏康ほか『民法入門 第2版』（法律文化社・2021年）

《課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法》

毎回、講義の最後にコメントへ記入を課する。教員がコメントを（自己採点やグループでのコメント含む）を付して返却する。

《授業の到達目標》

ビジネスや市民生活の基本である民法分野において、基本概念や判例について理解することができる。具体的な事例について、民法のルールを適用して判断することができる。さらに、民法をめぐる現代的課題に関心をもち、自分の意見を表すことができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に到達したかを期末試験(55%)およびコメントへ記入(45%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 55% レポート %  
 課題 45% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	イントロダクション	予習：教科書を熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
2	代理（1）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
3	代理（2）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
4	代理（3）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
5	法人	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
6	同時履行の抗弁権	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
7	危険負担	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
8	債権回収・責任財産の保全	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
9	債権の担保（人的担保・物的担保）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
10	抵当権（1）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
11	抵当権（2）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
12	物権的請求権・占有	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
13	物権変動（1）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
14	物権変動（2）	予習：教科書の該当ページを熟読し、疑問点を整理する（2時間）。 復習：講義内容を見直し、確認テストを再検討する（2時間）。
15	まとめ	予習：これまでの全内容を復習する（5時間）。 復習：理解の不十分な点を確認し、今後の学習計画を立てる（1時間）。

《専門科目》

科目名	行政法				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DB3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

まず、行政の活動のうち、非権力的行政活動について取り扱い、その後に、行政救済法分野（事前救済・事後救済）をあつかう。国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法等に基づき、どのような事件が争われているのかについて判例を参照しながら学んでいく。

《教科書》

よくわかる行政法（自由国民社）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テストののち、全体に対して解説を行う。

《授業の到達目標》

- ①非権力的行政活動の種類と特徴について理解すること
- ②行政救済制度にはどのようなものがあるのかを理解すること
- ③国家賠償法の概要が説明できるようになること
- ④行政不服審査法に基づいて行う審査請求について理解すること
- ⑤行政訴訟について、具体的判例を基に理解すること

《成績評価基準》

小テストとまとめのテストを基に総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート %  
 課題 40% 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	非権力的行政活動① 行政契約	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
2	非権力的行政活動② 行政計画	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
3	非権力的行政活動③ 行政指導	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
4	行政手続法	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
5	行政救済法の全体構造	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
6	国家賠償法1条	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
7	国家賠償法2条	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
8	前半の総復習	前半の復習を行うこと(2時間)
9	行政不服審査法①	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
10	行政不服審査法② (判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
11	行政事件訴訟法の構造	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
12	取消訴訟の訴訟要件とはなにか	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
13	原告適格(判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
14	処分性(判例)	テキストの該当箇所を読み理解し、授業後ノートをもとに理解を深めること(2時間)
15	全体の復習とまとめのテスト	全体の復習を行うこと(2時間)

《専門科目》

科目名	会社法				
担当者氏名	若色 敦子				
授業方法	講義	単位・必修	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

会社法の基本構造は、組織の管理運営についての「コーポレート・ガバナンス」、会社の資金源と最終的な支配権と金融商品にかかわる「ファイナンス」、会社の行う事業ないし会社それ自体の組織を変える「M & A」である。本講義では、実際の事件を題材に、シビアナ経済競争の中で会社およびその関係者がどんな事件を起こしてきたか、会社法がそれにどう対処してきたかを検討する。

《授業の到達目標》

本講義では、いわゆるケース・メソッドにより、典型的な事件について、その問題点と課題を分析し、問題解決に必要な条文を選び適切な解釈により妥当な結論を導き出す  
そのことで、会社法の考え方を身につけることを目標とする。

《成績評価の方法》

筆記試験 60% レポート 20%  
課題 % 実技 %  
授業の取組 20%  
その他 ( ) %

《教科書》

指定なし  
授業レジュメを使用

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出課題については、コメントをつけて返却する

《成績評価基準》

会社に関する事件とその問題点を読み取れるか  
問題に即した条文を選択し、適切な解釈ができるか  
具体的妥当性のみならず「会社法」の基本原則に即した考え方ができるか

《参考図書》

会社法判例百選（第4版）  
ポケット六法またはデイリー六法  
\* 詳しくは開講後説明します

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	会社とは何か	予習：シラバスを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
2	会社の意思決定と機関相互の緊張関係	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
3	インターミッション1 株主総会の間と希望？	予習：レジュメと配付資料を読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
4	三越事件(1)社長をクビにする方法	予習：レジュメと配付資料を読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
5	三越事件(2)役員の非行と報酬	予習：レジュメと配付資料を読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
6	三越事件(3)取締役の犯罪と民事責任	予習：レジュメと配付資料を読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
7	インターミッション2 会社はどの程度人間か	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
8	株式と資本/新株予約権	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
9	ニッポン放送事件(1) 企業買収と買収防衛	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
10	ニッポン放送事件(2) ホリエモン対フジTV	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
11	ニッポン放送事件(3) 法廷闘争と後日談	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
12	インターミッション3 ブルドックソースの明暗	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
13	セブン&アイの行方(1) 組織再編の方法	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
14	セブン&アイの行方(2) 企業グループ	予習：レジュメを読んでくること。復習：レジュメとノートの確認をすること。予復習時間：1時間
15	まとめ	予習：今までのレジュメをまとめておく。復習：講義中呈示したテーマについて自分なりにノートをまとめる。予復習時間：1時間

《専門科目》

科目名	スポーツと法				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

スポーツ指導者が負う可能性のある法的責任について説明を聞き、具体的な事例に基づいて理解を深める。  
スポーツに関する人権問題や紛争解決方法について理解する。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

提出されたコメントへ「ハ」にコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

スポーツの指導を行う者(指導者、インストラクター)が配慮しなければならない法的知識を、過去の事故例に基づいて理解することができる。  
スポーツ事故の予防、事故が起きた時の対処、危機管理について具体的に行動できる。  
スポーツ指導に携わる者として、常に人権を意識した行動ができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ の達成度を、期末試験(55%)および、授業後に課すコメントペーパー(45%)で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 45%  
課題 45%

《参考図書》

日本スポーツ法学会『標準テキスト スポーツ法学 第3版』(エイデル研究社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	スポーツと法の関係	【予習】事前配布する資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
2	指導者の法的責任 (刑事・民事・行政)	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
3	民事責任(1) ～不法行為責任	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
4	民事責任(2) ～特殊な不法行為	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
5	民事責任(3) スポーツ事故判例(1)	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
6	指導者の責任・スポーツ事故判例(2)	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
7	管理者・主催者の責任・スポーツ事故判例(3)	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
8	スポーツ事故とリスクマネジメント	【予習】スポーツ事故の予防策・対応策について考える(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
9	スポーツとジェンダー	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
10	暴力とパワーハラスメント	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
11	スポーツとインテグリティ	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
12	スポーツ仲裁機関	【予習】資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
13	スポーツビジネスと法的問題	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
14	スポーツ基本法とスポーツ権	【予習】教科書と参考資料を熟読し概要を整理する(2時間)。 【復習】講義内容を振り返り、新しく理解したことを確認する(2時間)。
15	まとめ	【予習】これまでの学習内容を振り返る(3時間)。 【復習】理解が不十分な部分を確認し、今後の学習課題を検討する(1時間)。

《専門科目》

科目名	会計学				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

近年、企業経営のグローバル化の影響を受け、多くの会計基準が新設および改廃されている。この授業では、今まさに大きく変わりつつある日本の財務会計について学ぶ。

この授業を受講するにあたり、簿記や会社法、経営学等の知識があるとより深く理解できるため、これらの授業も受講すること。また、普段から新聞などで、企業活動や国内外の社会の動向をチェックしておくこと。

《授業の到達目標》

日本の財務会計に関する知識の習得を目標とする。  
 会計の役割と特徴がわかる。  
 日本と国際財務報告基準（IFRS）とアメリカ基準の違いがわかる。  
 会計の観点から、企業経営の特徴がわかる。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 70%  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他（小テスト） 30%

《教科書》

桜井久勝・須田一幸著『財務会計・入門 企業活動を描き出す会計情報とその活用法』有斐閣。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（30%）。期末のレポート課題では、到達目標 ~ の習得度を問う（70%）。

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	会計とは何か	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
2	財務会計の役割	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
3	企業会計のシステム	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
4	損益計算の基本原則	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
5	資産評価の基本原則	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
6	財務諸表の作成と公開	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
7	企業の設立と資金調達	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
8	仕入・生産活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
9	販売活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
10	収益認識基準（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
11	収益認識基準（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
12	設備投資と研究開発	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
13	資金の管理と運用（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
14	資金の運用と管理（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。
15	国際活動	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（2時間）。 復習：教科書およびレジュメを熟読する（2時間）。

《専門科目》

科目名	工業簿記				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P6 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

「商業簿記」は商品売買業を対象にした簿記であるのに対して、「工業簿記」は製造業を対象にした簿記である。製造業では仕入れた材料に加工を施すので、製品を作るのにかかった費用を計算しなければならないため、工業簿記を使う。

この授業では日商2級の範囲を扱う。  
毎回必ず電卓を持参すること。

《教科書》

桑原知之著『サクッとわかる日商2級テキスト工業簿記』ネットスクール株式会社出版本部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

工業簿記の習得を目標とする。  
目的の応じた原価計算ができる。  
費用と利益の関係から、企業の経営活動の管理ができるようになる。  
企業の生産活動の流れをイメージできるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う(28%)。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う(72%)。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組 %  
その他(小テスト) 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	工業簿記の基礎	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
2	費目別計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
3	製造間接費の配賦	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
4	総合原価計算(1)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
5	総合原価計算(2)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
6	総合原価計算(3)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
7	標準原価計算(1)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
8	標準原価計算(2)	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
9	CVP分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
10	直接原価計算による損益計算書	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
11	個別原価計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
12	部門別計算	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
13	費目別計算の応用	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
14	本社工場会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと(1時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(3時間)。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと(2時間)。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し(2時間)。

《専門科目》

科目名	簿記上級				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

株式会社で行われる会計処理と記帳技術について学ぶ（日商簿記検定2級レベル）。  
 なお、この授業は、既に日商簿記検定3級レベルの知識を習得していることを前提に進めていく。  
 毎回必ず電卓（またはそろばん）を持参すること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC株式会社出版事業部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

中規模株式会社の簿記技術の習得を目標とする。  
 日本の会計基準や会社法、会社計算規則等に従った会計処理ができるようになる。  
 企業の経営活動をイメージできるようになる。  
 国際財務報告基準（IFRS）と日本基準の会計処理の違いがわかる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72%）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	簿記一巡の手続き・株式会社の特徴	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	株式の発行、剰余金の配当と処分	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	合併と無形固定資産	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	法人税等と消費税	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	商品売買等（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	商品売買等（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	手形と電子記録債権（債務）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	その他の債権譲渡	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	銀行勘定調整表	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	固定資産（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	固定資産（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	リース取引・研究開発費とソフトウェア	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	有価証券（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	有価証券（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	FP2級試験対策講座				
担当者氏名	新垣 のぞみ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<small>1-0P3 3. 専門的知識・技術・技能</small> ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 <small>1-0P5 5. 実践的応用力</small> 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

ファイナンシャルプランナーとして、金融関連の授業・資格講座・企業研修等や個人の相談業務に携わっている教員が、授業に関連する様々な具体例の共有や学習ポイントを交え講義演習を行う。国家資格FP技能士3級・2級の合格を目指す。

授業内容は進行の度合い等により変更する場合もある  
 指定教科書(必ず本年度のもの)と電卓を持参すること  
 3級合格を目指す学生も受講可能

《授業の到達目標》

FP(ファイナンシャルプランナー)資格を学ぶことは、就職活動でのアピールポイント、公務員試験などの勉強の素地作りになる。また、社会に出た後のスキルアップ(入社後FP資格取得を求められることもある)、そして、日々の暮らしに役立たせることができる。

年3回実施の国家資格FP技能士3級・2級合格の素地作りを目標とする。

《成績評価の方法》

授業の取組 50%  
 筆記試験 50%  
 その他 ( ) %

《教科書》

うかる! FP2級・AFP 王道テキスト 2025 2026年版(予定)(例年5月下旬発刊のため授業内で指定)

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義内で全体フィードバックを行う

《成績評価基準》

受講態度等の取り組み姿勢を評価項目とする

《参考図書》

うかる! FP2級・AFP 王道問題集 2025 2026年版(予定)(例年5月下旬発刊のため授業内で指定)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
2	ライフプランニングと資金計画	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
3	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
4	リスク管理	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
5	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
6	金融資産運用	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
7	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
8	タックスプランニング	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
9	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
10	不動産	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
11	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
12	相続と事業承継	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
13	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
14	実技対策	(予習復習各2時間) 指定教科書を読むこと・自分や家族の生活と社会や経済の環境との関係を考えること
15	まとめ(期末試験)	(復習各2時間) 指定教科書の該当箇所を再度熟読し、期末試験に向けて苦手部分を復習すること。

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	永吉 美知子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P6 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

多様化するビジネス環境の中でいかにコミュニケーションを構築するのが目的である。現代社会の出来事（経済・政治・暮らし・社会環境・国際関係）を多面的な視野で理解しその問題点と解決方法を記述化することによって相手に明確にその意思を伝達できるコミュニケーションを培う

《教科書》

適宜プリント配布

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内で課題を考え 解説を行う

《授業の到達目標》

インターネット・新聞・論文などに興味を持つ。  
 他者に意見や記事を正確に読み取る。  
 自分の意見をデータなどに基づき述べるができる

《成績評価基準》

客観的なデータをもとに 自分の意見を明確に伝えることで 相手方とコミュニケーションを構築できるようなっているか

《成績評価の方法》

筆記試験 40% レポート %  
 課題30 % 実技 %  
 授業の取組30 %  
 その他 ( ) %

《参考図書》

江夏健一 「理論とケースで学ぶ国際ビジネス：」  
 ニュース検定 1・2級

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	オリエンテーション 日本の政治と選挙制度	復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
2	日本国憲法の基礎	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
3	日本の領土 EEZ	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
4	安全保障 専守防衛	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
5	地方自治の基礎 東京への一極集中	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
6	国の税制の基礎 物価と賃金上昇	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
7	社会保障 人口減少とその対策	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
8	社会保障の課題 現役世代の負担	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
9	日本の働き方の基礎 増える非正規	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
10	共生社会 男女平等 日本の課題	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
11	情報社会 生成AI 5G社会	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
12	災害の基礎 地震対策	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
13	国際連合の基礎 世界平和への課題	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
14	総復習	予習：新聞記事を読む習慣を持ち 疑問点を書き出す(30分) 復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)
15	試験とFB	復習： 授業内容を復習し 疑問点を調べてみる。(30分)

《専門科目》

科目名	実践的IT基礎演習とプログラミング				
担当者氏名	柿山 達哉、森田 典子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・前期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-06 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力をつけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

IT基礎 -1 (パソコン操作、Windows操作、Google Workspaceの応用)  
 EXCEL分析  
 EXCELマクロプログラミング基礎 (初級)  
 生成AIを使ったプログラムの作成(面接練習の壁打ちなど)  
 テーマは進度に応じて変更することもある。

《教科書》

必要な教材は講義時に配布するか、事前にメールで送る。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に提出する講義レポートの内容と、講義で与えた課題を提出してもらい評価をする。出席率も大きな評価ポイントになる。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身につけることが目標。  
 時代の変化についていけるように、ITを使って調べ考える力を身につける。  
 ITの最新の流行を知る。

《成績評価基準》

- ・ 講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・ 課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・ 課題を理解して自分の力として身につけることができたか。
- ・ 講義を楽しむことができたか。

《成績評価の方法》

課題 60%  
 授業の取組 40%  
 上記評価に出席率を加味して総合評価点をつける。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	IT基礎 -1	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	IT基礎 -1	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	EXCEL分析	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	EXCEL分析	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	生成AIを使ったプログラムの作成	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	生成AIを使ったプログラムの作成	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	振り返り	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

---

2 年 後 期

---

《基礎科目》

科目名	英会話				
担当者氏名	クリスル サトウ				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-0P6 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

We will improve English skills using fun & lively exercises & activities & work in small teams. Students should feel confident to ask questions & answers them in English, will learn to express opinions, discuss, events & learn storytelling.

《授業の到達目標》

Students develop confidence & fluency as they try to ask & answer questions, talk about themselves, their habits & customs & plans & asking questions in class.

《成績評価の方法》

筆記試験 30% レポート %  
 課題 10% 実技 40%  
 授業の取組 10%  
 その他 ( ) 10%

《教科書》

Classbook: "Take it Easy" by Herman Bartelen

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

I correct spelling, grammar & if writings are original (witty) I reward the test / report / or any other writings with an extra point.

《成績評価基準》

-Tests, check their written homework & papers they write in class.  
 -I let them work in pairs (2-3 people) & 'perform', I will ask them questions in class.

《参考図書》

occasionally extra work or grammarsheets (dependant on the students needs)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	Unit 8	[Entertainment, Asking for & giving information] Answer; the question What do you do for entertainment? (pg.57) (1h)
2	Unit 9-1	[Staying Healthy, Describing Routines] Answers the question on paper & What do you do to stay healthy ? (pg.63)
3	Unit 9-2	[Using Numbers, Giving Instructions] Fill out the Questions on pg.67 (1 h)
4	Unit 10-1	[Describing People] Describe one of your family members? (pg.73)(1 h)
5	Unit 10-2	[Describing Personality] Fill out the questions on pg.76 (1 h)
6	Unit 11-1	[Storytelling, Past Progressive Tense Questions] What were you doing on the weekend? (pg.79) (1 h)
7	Unit 11-2	[Reacting to Events] Describe an event when you felt excited (pg.81)(1 h)
8	Unit 11-3	[Telling stories] Prepare a short story (pg.83) (1 h)
9	Unit 12-1	[Asking for and giving Advice] What do you think about your environment (pg.85) (1 h)
10	Unit 12-2	[Expression Opinions] What do you think about iphones in class (pg.87) (1 h)
11	Unit 12-3	[Discussing Issues] Study the word bank on pg.88 (1 h)
12	Practice test	Prepare/review for your test (1h)
13	Writing personal stories	Write a short story about your childhood (1h)
14	Test	Review (1h)
15	Return Tests & Answer Questions	[Return tests & answer questions, learn a song] If you have questions pls write them down (1h)

《基礎科目》

科目名	キャリア演習				
担当者氏名	大谷 美咲、矢野 沙織、岸田 優、久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・必修	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP1 1.豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。 1-DP2 2.コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

「社会人となる心構え」に関するグループワークを中心に行い、テーマごとに社会人としての基礎スキルを学ぶ。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

不定期に課題を課し、ポートフォリオの作成を行う。テーマごとのポートフォリオの作成・見直し・完成をくりかえす。

《授業の到達目標》

自分の強み・弱みを把握し、自分自身への理解を深めることができる。グループワークを通じて、他者と適切なコミュニケーションをとりながら、自己の役割をはたすことができる。様々な演習や講演等を通じて、現代社会の仕組みを理解することができる。自己と社会への理解を深めながら、将来どのように生きていきたいか(キャリアデザイン)について考えることができる。

《成績評価基準》

到達目標 ~ の達成度を課題、ポートフォリオによって測定する(80%)。また、グループワークへの主体的な参加姿勢を評価に加える(20%)。

《成績評価の方法》

課題 80%  
授業の取組 20%

《参考図書》

適宜指示する

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：2年前期までを振り返っておく(30分)。 復習：授業内容の復習(30分)。
2	福浜祭打ち合わせ・準備	予習：福浜祭で出店したい内容について考えておく(30分)。 復習：打ち合わせ内容の確認(30分)。
3	福浜祭準備	予習：前回の打ち合わせ内容の確認(30分)。 復習：打ち合わせ内容の確認(30分)。
4	福浜祭準備	予習：前回の打ち合わせ内容の確認(30分)。 復習：打ち合わせ内容の確認(30分)。
5	福浜祭準備	予習：前回の打ち合わせ内容の確認(30分)。 復習：打ち合わせ内容の確認(30分)。
6	福浜祭振り返り	予習：福浜祭の経験の共有(30分)。 復習：課題に取り組む(30分)。
7	ポートフォリオの作成	予習：福浜祭に関するポートフォリオの作成準備(30分)。 復習：ポートフォリオの作成(30分)。
8	ポートフォリオの作成 次回の準備	予習：ポートフォリオの課題について各自で調べる(30分)。 復習：次週の用意、打ち合わせ内容の確認(30分)。
9	ポートフォリオ作成	予習：ポートフォリオの課題について各自で調べる(30分)。 復習：次週の用意、打ち合わせ内容の確認(30分)。
10	ポートフォリオ作成	予習：前回までの活動もふりかえり、内容の確認(30分)。 復習：ポートフォリオの完成(30分)。
11	内定者報告会	予習：「仕事」について考える(30分)。 復習：報告者の話を聞き、疑問におもったことなどについて調べる(30分)。
12	社会人準備講座	予習：新社会人として何が必要か考える(30分)。 復習：セミナー内容の復習(30分)。
13	社会人準備講座	予習：新社会人として何が必要か考える(30分)。 復習：セミナー内容の復習(30分)。
14	1・2年生交流会	予習：各自担当の準備(30分)。 復習：交流会における反省(30分)。
15	春期休暇前指導 1年生向けゼミ紹介	予習：春期休暇の過ごし方を計画する(30分)。 復習：キャリア演習 全体を振り返る(30分)。

《専門科目》

科目名	簿記上級				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

この授業は、前期開講科目「簿記上級」の続きである。前期に引き続き、中規模の株式会社会計について学ぶ（日商簿記検定2級レベル）。後期では、さらに、株式会社の財務諸表の作成方法について学ぶ。毎回必ず電卓を持参すること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級商業簿記』TAC株式会社出版事業部。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

中規模株式会社の簿記技術の習得を目標とする。日本の会計基準や会社法、会社計算規則等に従った会計処理ができるようになる。株式会社の財務諸表を作成できるようになる。企業の経営活動をイメージできるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28%）。期末の筆記試験では到達目標～の習得度を問う（72%）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72% レポート %  
 課題 % 実技 %  
 授業の取組 %  
 その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	引当金	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	外貨換算会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	税効果会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	収益認識の基準	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	精算表の作成（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	精算表の作成（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	財務諸表の作成	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	帳簿の締め切り	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	本支店会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	連結会計（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	連結会計（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	連結会計（3）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	連結会計（4）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	製造業会計	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	裁判学				
担当者氏名	吉田 俊介				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0p3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

刑事裁判、民事裁判をベースに、裁判等紛争解決手段の基本的な仕組みについて理解し、何等かの紛争発生の際、これに対峙できる程度の知識を習得することを目指す。

《教科書》

教科書は使用せず、毎回レジュメを使用する。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

試験後、講評あるいは解説を、HP 等に掲載します。

《授業の到達目標》

紛争は、民法、刑法、などの実体法に従い解決されるが、紛争解決機関である裁判所では、民事訴訟法や刑事訴訟法に則った訴訟運営がなされるため、これらを理解しておく必要がある。当講義においては、「民事訴訟法」「刑事訴訟法」入門講義に該当する内容を取扱い、各紛争解決手続の基本的仕組みを理解することを目指す。

《成績評価基準》

平常点（授業態度、毎回の授業最後の出席クイズ）、筆記試験により評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験70% レポート0%  
 課題0% 実技0%  
 授業の取組30%  
 その他( )0%

《参考図書》

- ・「現代の裁判（6版）」市川・酒巻・山本（有斐閣）
- ・判例つき六法

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	はじめに - 何をどう学ぶか -	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
2	裁判所制度	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
3	法律家の役割	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
4	刑事裁判1	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
5	刑事裁判2	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
6	刑事裁判3	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
7	少年事件	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
8	民事裁判1	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
9	民事裁判2	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
10	民事裁判3	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
11	家事事件	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
12	憲法訴訟	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
13	行政訴訟	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
14	その他の紛争解決手続	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）
15	まとめ	予習：該当する可能性のある条文・制度の確認等（2時間） 復習：配布レジュメで復習。法学検定をベースにした QA 等。（2時間）

《専門科目》

科目名	ビジネス実務				
担当者氏名	有田 麻紀				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

大手企業の秘書室において、個人付秘書の長年の経験や、一般のお客様からVIPまで、多種多様の方々とのビジネス交流の経験から、企業における対人関係の実例や実体験、社会人としての常識・教養などを題材とした議論や演習を行う。また、マニュアルだけにとらわれない、臨機応変なコミュニケーション術を、実例やロールプレイングなどをまじえながら考察を行い、心身共に逞しい人間対応力を身につけるような講義を行う。

《教科書》

無し

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

小テスト2回の実施により採点し、全ての設問に対する解説を次の週で行う。その際、応用問題も提示し、その場で質疑応答をして、理解度をさらに深めさせる。

《授業の到達目標》

- ・社会人としての常識やビジネスマナーの基本、組織人としての社会適応力を身につけると同時に、自発的に行動できる発信力を発揮できるようにする。
- ・人生の目標を設定し、「働く」ということの意義を見出すことができる
- ・家庭の躰を礎とした大人のモラルを学び、コンプライアンスの知識を身につける

《成績評価基準》

講義中における態度による評価と課題提出 50%  
理解度確認小テスト(2回) 50%

《成績評価の方法》

筆記試験	50 %	レポート	%
課題	20 %	実技	%
授業の取組	30 %	その他( )	%

《参考図書》

社会人のための基本のビジネスマナー(ナツメ社)

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	「働く」ことの意味。学生と社会人の違い	予習：テーマについて答えられるようにする事(2h) 復習：年下に説明できる(2h)
2	ディスカッションと発表(夢・目標・不安 etc)	予習：ディスカッション出来るよう考えておく事(2h) 復習：自分で明言する(2h)
3	ビジネスマナー 挨拶・敬語・若者言葉	予習：敬語を説明できる事(2h) 復習：積極的に喋る(2h)
4	ビジネスマナー クッション言葉・電話応対	予習：ビジネス電話の言いまわしを知る事(2h) 復習：練習する(2h)
5	ビジネスマナー 通信ツール(メール・文書)	予習：ビジネス文書を勉強する(2h) 復習：練習する(2h)
6	小テスト(45分)/ビジネスマナー 第一印象	予習：身だしなみのポイントを知る(2h) 復習：他人からの評価を受ける(2h)
7	ビジネスマナー 報連相・名刺の扱い	予習：報連相を知る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
8	ビジネスマナー 湯茶接待・仕事の進め方	予習：来客対応法を知る(2h) 復習：ロープレでできる(2h)
9	ビジネスマナー ワークライフバランス・スケジュール管理	予習：ストレスについて知る(2h) 復習：自己解決策を見出す(2h)
10	ビジネスマナー コミュニケーション力の向上法	予習：話術についての本を読む(2h) 復習：自分の方法を見出す(2h)
11	ロールプレイング「こんな時どうする」	予習：柔軟性を学ぶ(2h) 復習：ロープレの質を高める(2h)
12	ビジネスマナー 世代間ギャップについての対策	予習：ギャップの生じる理由を探る(2h) 復習：人に説明できる(2h)
13	ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
14	小テスト(45分)/ライフマナー 家庭の躰	予習：事前課題を説く(2h) 復習：年下に指導できる(2h)
15	アフター5のビジネスマナー/まとめ	予習：飲み会等での疑問を出す(2h) 復習：ロープレでできる(2h)

《専門科目》

科目名	経営分析				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-093 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。				

《授業の概要》

企業は、毎期貸借対照表や損益計算書などの財務諸表等を作成し公開している。財務諸表の数値を観察すると、企業からのメッセージを読み取ることができる場合がある。この授業では、経営分析の方法について学ぶ。

毎回必ず電卓を持参すること。また、普段から新聞などで、企業活動や国内外の社会の動向をチェックしておくこと。

《教科書》

一般社団法人資格教育推進機構監修、新田忠誓編『決算書分析の方法と論理【第5版】』ネットスクール出版。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回授業の最後に小テストを行う。解答終了後に解答解説を配布し、解説の時間を設ける。

《授業の到達目標》

企業経営の分析方法に関する知識の習得を目的とする。

財務諸表を読み解く分析能力を身につける。

目的に応じた分析方法を身につける。

財務諸表を通じて、企業経営を把握できるようになる。

《成績評価基準》

毎回授業の最後に小テストを行い、その回の内容の理解度を問う（28％）。期末の筆記試験では到達目標 ~ の習得度を問う（72％）。

《成績評価の方法》

筆記試験 72％ レポート %

課題 % 実技 %

授業の取組 %

その他（小テスト） 28%

《参考図書》

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	財務諸表分析の必要性	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
2	財務諸表の読み方	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
3	百分比財務諸表分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
4	百分比財務諸表分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
5	趨勢分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
6	安全性の分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
7	安全性の分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
8	資金運用効率の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
9	収益性の分析（1）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
10	収益性の分析（2）	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
11	キャッシュ・フロー分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
12	損益分岐点分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
13	生産性の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
14	成長性の分析	予習：教科書の該当箇所を熟読しておくこと（1時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（3時間）。
15	総括	予習：これまでの内容を復習しておくこと（2時間）。 復習：授業中に取り上げた問題の解き直し（2時間）。

《専門科目》

科目名	ビジネス実務法務検定対策講座				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 1-0P5 5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

ビジネスに関する法律について、基本原理や考え方のポイントを中心に説明を聞き理解する。「ビジネス実務法務検定3級」の過去問演習を通じて、どこまで理解できたかを確認する。

《教科書》

武山茂樹『改訂版 武山茂樹のビジネス実務法務検定試験 1冊目の教科書』（KADOKAWA・2023年）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の確認問題を採点后に返却する。

《授業の到達目標》

企業や組織に属し、ビジネスに必要な法律知識を修得する。民法（民法総則・債権法・物権法）や会社法の知識を結びつけて体系的に理解できる。ビジネス実務法務検定試験3級に合格し、宅地建物取引士試験や行政書士試験にチャレンジするための土台を作る。

《成績評価基準》

到達目標 の達成度を毎回の確認問題（過去問）を通じて測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 90% 実技 %  
 授業の取組 10%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

東京商工会議所編『ビジネス実務法務検定試験®3級公式問題集 2025年度版』（東京商工会議所検定センター・2025年）

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ビジネス実務法務検定試験の概要	【予習】教科書全体とシラバスを読み、授業内容を概観する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
2	契約法(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
3	契約法(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
4	契約法(3)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
5	不当利得・事務管理	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
6	不法行為	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
7	債権の管理と方法(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
8	債権の管理と方法(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
9	債権の管理と方法(3)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
10	法人と会社(1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
11	法人と会社(2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
12	法人と会社(3)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
13	企業財産の管理 ～知的財産	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
14	企業活動に関する法規制 (1)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)
15	企業活動に関する法規制 (2)	【予習】教科書の該当頁を熟読し、疑問点を整理する(1時間) 【復習】確認問題の復習と本試験問題の演習(2時間)

《専門科目》

科目名	ビジネスコミュニケーション				
担当者氏名	(未定)				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-0P2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。				

《授業の概要》

社会人として必要な語彙を増やし、円滑にコミュニケーションが取れるようにする。  
 日本で働く外国人が増え、彼らとコミュニケーションを取る重要性が増した。「やさしい日本語」をツールとし、コミュニケーションが取れるようにする。  
 \* 学生の興味、また課外授業などにより内容を変更することがある。

《教科書》

ハンドアウト

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

授業内で演習し、解説する。

《授業の到達目標》

- ・ 時事用語やビジネス用語を理解することができる。
- ・ コミュニケーションに必要な分析力を養うことができる。
- ・ やさしい日本語で外国人とコミュニケーションができる。

《成績評価基準》

授業内で演習を通して思考力し、分析力を身につけることができたかを評価する。  
 授業内での積極性を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 40%  
 課題 30%  
 授業の取組 30%

《参考図書》

ジョブパス  
 文章検定

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	キャリアと仕事へのアプローチ	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
2	会社活動の基本	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
3	話し方と聞き方のポイント	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
4	コミュニケーションとビジネスマナー	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
5	指示の受け方と報告、連絡・相談	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
6	プレゼンテーション	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
7	チームワークと人とのネットワーク	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
8	仕事の進め方	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
9	ビジネス文書の基本	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
10	電話対応	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
11	統計・データの読み方・まとめ方	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
12	情報収集とメディアの活用	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
13	会社数字の読み方	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
14	社会を取り巻く環境と経済の基本	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。
15	知識・読解・分析などの総括	予習は必要なし、授業で扱った演習問題を理解し、類似問題が解けるように復習する。

《専門科目》

科目名	実践的IT基礎演習とプログラミング				
担当者氏名	柿山 達哉、森田 典子、井上 直子				
授業方法	演習	単位・必選	1単位・選択	開講年次・開講期	2年・後期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-096 5・実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。				

《授業の概要》

IT基礎 -2(復習+IT実践ロールプレイング)  
 EXCELマクロプログラミング基礎(応用)  
 課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)  
 サーバレス・ノーコードアプリの制作  
 テーマは進度に応じて変更することもある。  
 受講資格は演習を終了したか、同等の力がある者。

《教科書》

必要な教材は講義時に配布するか、事前にメールで送る。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

講義毎に提出する講義レポートの内容と、講義で与えた課題を提出してもらい評価をする。出席率も大きな評価ポイントになる。

《授業の到達目標》

2年間でパソコンを実際に活用できる力を身につけることが目標。  
 時代の変化についていけるように、ITを使って調べ考える力を身につける。  
 ITの最新の流行を知る。

《成績評価基準》

- ・ 講義に対し意欲的に取り組んでいたか。
- ・ 課題に対して真摯に取り組むことができたか。
- ・ 課題を理解して自分の力として身につけることができたか。
- ・ 講義を楽しむことができたか。

《成績評価の方法》

課題 60%  
 授業の取組 40%  
 上記評価に出席率を加味して総合評価点をつける。

《参考図書》

講義の内容にあわせて、各種説明資料等を講師が作成し配布する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	IT基礎 -2	予習：なし 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
2	IT基礎 -2	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
3	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
4	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
5	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
6	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
7	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
8	EXCELマクロプログラミング基礎	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
9	課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
10	課題解決(SWOT分析、AIを使った分析)	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
11	サーバレス・ノーコードアプリの制作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
12	サーバレス・ノーコードアプリの制作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
13	サーバレス・ノーコードアプリの制作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
14	サーバレス・ノーコードアプリの制作	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)
15	振り返り	予習：前講義で配布したプリントをあらかじめ読んでおくこと。(20分) 復習：理解できなかったこと等整理して、次の講義までに講師に質問する。(20分)

---

2 年 通 年

---

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

学生主体で討論を行い、各自自分の興味関心に応じた研究を行い、その内容をまとめ発表を行う。後期には研究テーマに関し卒業研究を行う。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の報告、発表等に関しその場でコメントをおこなう。

《授業の到達目標》

- ①法学、憲法、行政法を中心に自らの研究テーマを見出し、
- ②研究領域に関する基本的論点を把握し、それらの説明ができる。
- ③自分の決めた研究テーマについて論理的に説明した卒業研究を作成する。

《成績評価基準》

到達目標①～③をゼミでの活動とプレゼン、卒業研究によって総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 80% 実技 %  
 授業の取組 20%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に適宜指定する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス①	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
2	ガイダンス②	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
3	ディスカッション入門	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
4	グループワーク①	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
5	報告	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
6	グループワーク	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
7	報告	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
8	裁判所見学事前学習	裁判の仕組み、民事裁判と刑事裁判、裁判員制度について理解すること。(2時間)
9	裁判所見学	前回の復習及び、見学した裁判に関してミニレポートを提出。(2時間)
10	進路指導、個人面談	各自、就職活動、進路に関する進捗状況をまとめ、課題等をまとめておくこと。(2時間)
11	プレゼンの実践	グループごとに、法学のテーマを中心に課題学習を行う。テーマ設定のために各自資料に目を通しておくこと(2時間)
12	プレゼンの実践	課題学習(2時間)
13	プレゼンの実践	プレゼン資料の作成(2時間)
14	プレゼンの実践	プレゼンの実施と討論の準備(2時間)
15	プレゼンの実践	プレゼンの実施と討論の準備(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

前期は、簿記・会計の知識や技術を実務で生かせるよう、応用演習を行う。  
ゼミナールの内容をより理解するために、各簿記の授業および会計学、経営学等の関連科目を受講すること。また、普段から企業活動や国内外の社会の動向をチェックすること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級 商業簿記』TAC出版。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする。

《授業の到達目標》

複式簿記および会計制度について理解を深めることを目標とする。  
社会における、簿記・会計の役割を理解する。  
日本の会計制度についてわかるようになる。  
企業で行われている会計処理の意味がわかる。

《成績評価基準》

小テストの点数、およびゼミナール内での討論等への貢献度を評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
課題 % 実技 %  
授業の取組 5%  
その他(小テスト) 10%

《参考図書》

鶴見正史編著『複式簿記概説』五紘舎。  
桜井久勝・須田一幸著『財務会計・入門—企業活動を描き出す会計情報とその活用法—』有斐閣。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：会計処理・制度の復習(2時間)。
2	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
3	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
4	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
5	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
6	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
7	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
8	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
9	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
10	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
11	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
12	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
13	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
14	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。
15	簿記会計応用演習	予習：会計処理・制度の復習(2時間)。 復習：小テストの範囲の復習(2時間)。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 1-DP4 4. 創造的思考力 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。				

《授業の概要》

前期は、テキストを読み解き、グループ報告を行う。その後、卒業研究についてレクチャーを受け、夏休み中に卒業研究計画書を提出する。また、裁判所見学や、夏季休暇中の研修合宿を行う。

《教科書》

松原英世ほか『刑事政策をつかむ』（法律文化社・2024年）

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

課題・レポートは、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

前期のゼミナールでは、法律に関わるテキストを読み、グループごとに報告することで、テキストを読む力、情報収集する力、プレゼンテーションする力、チームワークを築く力を修得することができる。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に達したかを、グループ報告に対する評価(70%)、裁判所見学のレポートに対する評価(10%)、図書館の使い方に関する課題(10%)、ゼミへの参加態度(10%)によって測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート 10%  
 課題 10% 実技 %  
 授業の取組 10%  
 その他(グループ報告) 70%

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	【予習】新2年生ガイダンスでゼミの活動内容を聞き、希望調査票を提出する(1時間) 【復習】各自の役割を確認。課題テキストを読む(1時間)
2	テキストの読み方	【予習】課題テキストを熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
3	テキストの読み方	【予習】課題テキストを熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
4	報告のやり方	【予習】報告するテキストを選定し、読み込む(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
5	報告のやり方	【予習】報告するテキストを選定し、読み込む(1時間) 【復習】ゼミの内容を振り返り、疑問点を整理する(1時間)
6	裁判所見学	【予習】配布資料をもとに、裁判について理解しておく(1時間) 【復習】傍聴した裁判に基づきレポートを書く(1時間)
7	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
8	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
9	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
10	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
11	グループ報告	【予習】報告者は報告をまとめる。他の者は報告テキストを読み込む(2時間) 【復習】報告者は振り返り。他の者は報告内容の再検討(2時間)
12	卒業研究についてのレクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】内容を振り返り、卒業研究テーマを検討する(2時間)
13	卒業研究についてのレクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】内容を振り返り、卒業研究テーマを検討する(2時間)
14	資料の探し方・図書館の使い方	【予習】配布資料をもとに資料収集の方法を理解する(1時間) 【復習】課題に取り組む(2時間)
15	卒業研究について各自の報告	【予習】各自で資料を収集し、概要を作成する(3時間) 【復習】報告の不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（前期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

ゼミで新しいことを学ぶ際は、前回までで学んできた専門知識の理解が前提となる。よって、毎回一定量の予習と復習が必要となる。また、参加者からの意見など、情報発信の機会を与えるため、ほぼ毎回の発言を求める。

《教科書》

適宜伝える。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする

《授業の到達目標》

このゼミナールでは「現実に行っている経済現象」に目を向けながら、それらが起こる原因などを論理的に説明するための専門知識を身につけ、その上で「私たちの社会では、今、どのような商品・サービス・働き方が求められているのか？」を経営学(あるいはマーケティング)的思考を用いて自ら答えが出せるようになることを目標とする。

《成績評価基準》

筆記試験は実施せず、卒業研究と課題、授業への取り組みによって評価する。

《成績評価の方法》

報告および課題 80%  
授業への取組 20%

《参考図書》

中川, 佐々木, 服部(2021)『考える経営学(有斐閣ストゥディア)』有斐閣

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：経済と経営学の関わりについて調べておく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
2	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
3	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
4	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
5	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
6	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
7	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
8	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
9	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
10	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
11	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
12	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
13	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
14	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
15	経営を見る目を養う：経営学の基礎	予習：事前に与えられる資料を読み込んでおく(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	大谷 美咲				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

学生主体で討論を行い、各自自分の興味関心に応じた研究を行い、その内容をまとめ発表を行う。その後各自、研究テーマに関し卒業研究を行う。

《教科書》

指定しない

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

毎回の報告、発表等に関しその場でコメントをおこなう。

《授業の到達目標》

- ①法学、憲法、行政法を中心に自らの研究テーマを見出し、
- ②研究領域に関する基本的論点を把握し、それらの説明ができる。
- ③自分の決めた研究テーマについて論理的に説明した卒業研究を作成する。

《成績評価基準》

到達目標①～③をゼミでの活動とプレゼン、卒業研究によって総合的に判断する。

《成績評価の方法》

筆記試験 % レポート %  
 課題 80% 実技 %  
 授業の取組 20%  
 その他 ( ) %

《参考図書》

授業中に適宜指定する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	卒研執筆について	法学を中心に各自、自分の研究テーマを設定するために資料、ニュース等に目を通しておくこと。(2時間)
2	卒研執筆について	法学を中心に各自、自分の研究テーマを設定するために資料、ニュース等に目を通しておくこと。(2時間)
3	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
4	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
5	プレゼンの実践	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
6	プレゼンの実践	新聞のwebサイトで主なニュースに目を通し、興味を持ったものについてさらに調べること。(2時間)
7	プレゼンの実践	前回のグループワークをもとに報告書を作り、報告する。(2時間)
8	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
9	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
10	卒研指導・個人面談	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
11	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
12	卒研指導	各自のテーマに関して研究を進めていく(そのための資料検索)(2時間)
13	卒研指導	プレゼン資料の作成(2時間)
14	卒業研究発表	プレゼンの実施の準備(2時間)と発表原稿の作成
15	卒業研究発表	プレゼンの実施の準備(2時間)と発表原稿の作成

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	矢野 沙織				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

後期のゼミナールは、各自研究テーマを決め、卒業研究論文の作成を行う。  
ゼミナールの内容をより理解するために、関連科目を受講すること。また、普段から企業活動や国内外の社会の動向をチェックすること。

《教科書》

滝澤ななみ著『スッキリわかる日商簿記2級 商業簿記』TAC出版。

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする。

《授業の到達目標》

卒業研究論文の作成。  
積極的な討論への参加。

《成績評価基準》

ゼミナール内での討論への貢献度と卒業研究論文の作成で評価する。

《成績評価の方法》

筆記試験 70% レポート 15%  
課題 70% 実技 15%  
授業の取組 15%  
その他 ( ) %

《参考図書》

桜井久勝著『財務会計講義』中央経済社。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：研究計画の作成(2時間)。 復習：目次の作成(2時間)。
2	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
3	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
4	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
5	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
6	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
7	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
8	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
9	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
10	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
11	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
12	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
13	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
14	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。
15	論文作成指導	予習：報告準備(2時間)。 復習：論文の作成(2時間)。

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	岸田 優				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP2 2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。 1-DP3 3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。 1-DP4 4. 創造的思考力 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。				

《授業の概要》

研究報告のために、各自テーマを選び、資料を集め、報告する。報告の際は、傾聴し、議論に参加する(必ず質問する)。報告後は、報告者は各自でレポートを提出する。卒業研究は、卒業研究計画にしたがって、最終稿提出に向けて添削指導を受ける。

《教科書》

なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

報告のコメントページには、教員がコメントを付して返却する。

《授業の到達目標》

後期のゼミナールは、判例報告および判例に関するディスカッションを行うことで、主として、テキスト(基本書や判例評釈)を読む力、情報収集する力、プレゼンテーションする力を修得する。また、卒業研究を完成させることで、上記に加えて、まとまった文章を書く力を修得する。

《成績評価基準》

到達目標 ～ に達したかを、判例報告(30%)、判例報告コメントペーパー(10%)、および、卒業研究(60%)で測定する。

《成績評価の方法》

筆記試験 50% レポート 10%  
 課題 10% 実技 10%  
 授業の取組 30%  
 その他(卒業研究) 60%

《参考図書》

適宜指示する。

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	研究報告レクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】レクチャー内容を復習する(1時間)
2	研究報告レクチャー	【予習】配布資料を熟読し、理解を深める(1時間) 【復習】レクチャー内容を復習する(1時間)
3	福浜祭準備	【予習】役割分担にしたがって各自準備(2時間) 【復習】振り返りと次回準備事項の確認(2時間)
4	福浜祭準備	【予習】役割分担にしたがって各自準備(2時間) 【復習】振り返りと次回準備事項の確認(2時間)
5	研究報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントページを作成(2時間)
6	研究報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントページを作成(2時間)
7	研究報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントページを作成(2時間)
8	研究報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントページを作成(2時間)
9	研究報告	【予習】報告判例を熟読し、質問を考える(2時間) 【復習】内容を振り返り、コメントページを作成(2時間)
10	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
11	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
12	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
13	卒業研究指導(個別指導)	【予習】卒業研究の執筆をすすめる(2時間) 【復習】不十分な点を確認し、今後の計画を立てる(2時間)
14	卒業研究報告会	【予習】報告資料を作成する(4時間) 【復習】不十分な点を確認し、最終稿を仕上げる(4時間)
15	卒業研究報告会	【予習】報告資料を作成する(4時間) 【復習】不十分な点を確認し、最終稿を仕上げる(4時間)

《専門科目》

科目名	ゼミナール				
担当者氏名	久保 宏和				
授業方法	演習	単位・必選	4単位・必修	開講年次・開講期	2年・通年（後期）
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	1-DP3 グループワークを中心としたキャリア科目を通じて、社会人として「伝える力」、「チームで働く力」を身につけている。				

《授業の概要》

各自、研究テーマを決め、卒業研究の作成を行なう。

《教科書》

指定なし

《課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法》

ゼミナール内でコメントする

《授業の到達目標》

後期のゼミナールでは以下の3点を目標とする。

- (1)卒業研究の作成
- (2)卒業研究の報告

《成績評価基準》

筆記試験は実施せず、卒業研究の作成と報告、授業への取り組みによって評価する。

《成績評価の方法》

授業の取組 40%  
卒業研究 60%

《参考図書》

石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける！論文・レポートの基本』日本実業出版社

《授業計画》

週	授業のテーマ	予習内容(時間)・復習内容(時間)
1	ガイダンス	予習：研究テーマを探す(2時間) 復習：その回の要点の確認(2時間)
2	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
3	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
4	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
5	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
6	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
7	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
8	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
9	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
10	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
11	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
12	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
13	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
14	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)
15	卒業研究指導(個別指導)	予習：報告準備(2時間) 復習：卒業研究の作成作業(2時間)